

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020301010100		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	敬老事業	予算事業名	敬老事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者の生きがいつくりと社会参加を推進する		担当課長	友上 恵子	担当者名	室井 良太
取組み事項		生きがいつくりを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市百歳翁(媪)敬彰要綱、相生市敬老祝金支給要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	最高齢者、最高齢夫婦、百歳到達者、9月15日現在で77歳(喜寿)を迎えた市民、80歳到達者					
	誰(何)を対象として	長寿を祝福する					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生きがいを感じてもらう					

2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> 市の最高齢者及び最高齢夫婦を祝福。9月に市長訪問、祝品の贈呈(初年度のみ) 百歳到達者を祝福(市長訪問、祝品贈呈) ・80歳到達者記念写真撮影 9月15日現在77歳(喜寿)を迎えた方に祝い金を支給 					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	最高齢者、最高齢夫婦祝福	件	0	1	1	2	
	百歳到達者祝福	件	16	12	8	15	
	77歳(喜寿)祝福	件	434	337	396	360	
	80歳到達者記念写真	件	225	206	245	385	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.340	0.388	114	0.396	102	0.388	98	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,930,910	3,364,757	115	3,308,126	98	3,365,350	102	
	事業費	6,341,154	5,031,981	79	5,570,304	111	6,314,000	113	
	合計	9,272,064	8,396,738	91	8,878,430	106	9,679,350	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,272,064	8,396,738	91	8,878,430	106	9,679,350	109	
	合計	9,272,064	8,396,738	91	8,878,430	106	9,679,350	109	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		80歳到達者記念写真撮影者数							
指標説明(式)		80歳到達者記念写真撮影者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	336	300	89.3	370	123.3	385	104.1	
	実績	225	206	91.6	245	118.9			
指標名2		喜寿祝支給件数							
指標説明(式)		喜寿(77歳)祝支給件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	450	350	77.8	415	118.6	360	86.7	
	実績	434	337	77.6	396	117.5			

【効率性】

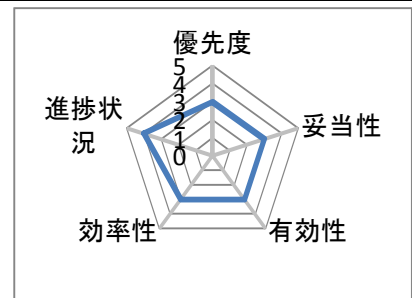
指標名1		祝福1件当たりの事業費コスト							
指標説明(式)		事業費/延件数(実績)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9219	8769	95.1	8603	98.1	8286	96.3	
	実績	9394	9050	96.3	8557	94.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	核家族化や地域共同体の希薄化等により、長寿を祝ってもらう機会のない高齢者も増加している。行政が祝福する意義はあると考える	3
	上位施策への貢献度	敬老事業の機会に高齢者の在住確認が出来る	
効率性	コストの節減	H17の88歳(米寿)の支給の廃止、H18の99歳(白寿)の支給廃止により、支給コストは低減したが、80歳到達記念写真の復活により増。今後、各敬老事業の継続について検討する必要がある	3
	手段の最適性	市長が訪問し直接祝うなど、敬老の思いを感じてもらっている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	80歳記念写真について:既存の価格を維持したまま業者の選定を行っているので業者に対しても負担が出始めている恐れがある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	80歳記念写真について:再度価格設定を行い予算に反映させ業者の選定を図る。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301010200		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	高齢者教育事業		予算事業名	高齢者教育事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)		高齢者の生きがいがづくりと社会参加を推進する		担当課長	西角 隆行		担当者名	山本 晃嗣
取組み事項		生きがいがづくりを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	概ね満60歳以上の市民						
	誰(何)を対象として	概ね満60歳以上の市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の生涯学習を行うことで、生きがいをもって自立した生活が送れる						

2 事業の概要 Do

実施の概要		金ヶ崎学園大学の開設						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	金ヶ崎学園大学	回数	14	14	14	14		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.160	0.160	100	0.120	75	0.112	93	
	臨時職員		0.568	-	0.440	77	0.440	100	
支出内訳	人件費	1,547,250	2,978,453	192	2,351,454	79	2,387,182	102	
	事業費	629,104	684,800	109	668,818	98	1,394,000	208	
	合計	2,176,354	3,663,253	168	3,020,272	82	3,781,182	125	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	826,000	774,500	94	774,000	100	1,394,000	180	
	一般財源	1,350,354	2,888,753	214	2,246,272	78	2,387,182	106	
合計	2,176,354	3,663,253	168	3,020,272	82	3,781,182	125		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		金ヶ崎学園大学学園生							
指標説明(式)		学園生人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	550	550	100.0	550	100.0	550	100.0	
	実績	591	545	92.2	538	98.7			
指標名2		金ヶ崎学園大学年間延参加者数							
指標説明(式)		年間延参加者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	8000	8000	100.0	8000	100.0	8000	100.0	
	実績	7444	7046	94.7	6770	96.1			

【効率性】

指標名1		1回当たり単位コスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷開設回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	211163	187456	88.8	221691	118.3	270084	121.8	
	実績	155454	261660	168.3	215733	82.4			

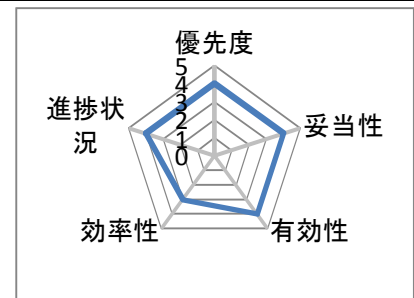
指標名2		学園生一人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷学園生人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5375	4772	88.8	5643	118.3	6874	121.8	
	実績	3682	6721	182.5	5613	83.5			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設のキャパの関係もあるが、受講者数は上限まできている	4
	市民サービス	高齢化が進むにつれ、年々学園生が増加している	
効率性	コストの節減	参加募集チラシは庁内印刷にするなどコストの節減に努めている	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	学習を通じて地域のリーダーとして活躍いただけるような意識付けをする。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	受講料を上げることで、講座の内容や講師を一変し、より興味をもてるような講座を行う。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020301020100		事業の種類	5	
年度	27	事務事業名	高年クラブ等社会活動促進事業	予算事業名	高年クラブ等社会活動促進事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者の生きがいつくりと社会参加を推進する		担当課長	健康介護課	担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		社会参加と交流を促進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法 在宅福祉事業費補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ					
	誰(何)を対象として	相生市高年クラブ連合会及び各単位高年クラブ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の教養の向上、健康増進及び生きがいつくりを目的に結成された団体である高年クラブに、活動促進のための補助を行い、高年クラブの目的達成を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高年クラブ連合会…連合会の広報活動、交通安全活動、一人暮らし等への声かけ運動、清掃奉仕活動費等への補助、健康づくり活動や文化教養活動の実施委託を行っている。単位クラブ…清掃活動、友愛訪問、健康づくり活動、子育て相談等の事業に対する補助。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	助成対象単位クラブ数	クラブ	24	22	22	24	
	助成対象クラブ会員数	人	1315	1231	1195	1400	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.212	0.186	88	0.204	110	0.196	96	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,946,974	1,799,661	92	1,871,582	104	1,856,614	99	
	事業費	3,454,675	3,148,815	91	3,161,073	100	3,326,000	105	
	合計	5,401,649	4,948,476	92	5,032,655	102	5,182,614	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	1,745,000	2,099,210	120	1,544,000	74	1,688,000	109	
	市債			-		-		-	
	その他	23,469	23,435	100	843,398	3,599	813,041	96	
	一般財源	3,633,180	2,825,831	78	2,645,257	94	2,681,573	101	
	合計	5,401,649	4,948,476	92	5,032,655	102	5,182,614	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成対象単位クラブ数							
指標説明(式)		助成対象単位クラブ数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
クラブ	目標	26	26	100.0	24	92.3	24	100.0	
	実績	24	22	91.7	22	100.0			
指標名2		助成対象クラブ会員数							
指標説明(式)		助成対象クラブ会員数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1400	1400	100.0	1400	100.0	1400	100.0	
	実績	1315	1231	93.6	1195	97.1			

【効率性】

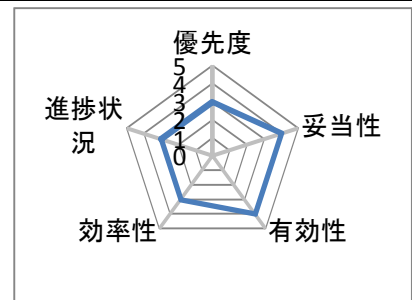
指標名1		クラブ会員一人あたりの費用							
指標説明(式)		事業費/クラブ会員数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2607	2515	96.5	2381	94.7	2376	99.8	
	実績	2627	2557	97.3	2645	103.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数クラブ数とも減少傾向にあり、加入促進を図る必要がある。	4
	市民サービス	高年クラブの活動強化により地域の共助力が向上し、地域住民の福祉向上が期待できる。	
効率性	手段の最適性	活動内容を適宜見直し、高年クラブの魅力アップを図り新規会員の増加を図る必要がある。	3
	執行体制の効率性	事業計画等の作成により、広く会員の意見が反映される仕組みづくりが必要。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数・クラブ数の減少。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	高年クラブ活動の有効性を広く周知し、高齢者が生きがいや役割を持てるまちづくりに努める。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302010100		事業の種類		7	
年度	27	事務事業名	老人福祉施設整備事業	予算事業名	老人福祉施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		椿の園耐震診断 養護老人ホーム愛老園エレベーター外改修事業		老人福祉施設整備補助事業			
根拠法規及び関連法規		相生市各種補助金等交付規則・相生市社会福祉法人の助成に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の老人福祉施設・市内高齢者					
	誰(何)を対象として	市内の老人福祉施設・市内高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	第5期介護保健事業計画を実現し、地域の高齢者が住み慣れた地域で生活継続できるよう、質の高い介護サービス基盤の整備を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		老人福祉施設事業者に対し、施設整備等に係る補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	認知症対応型グループホーム	件	1	0	0	1	
	小規模多機能型居宅介護事業所	件	0	0	0	1	
	養護老人ホーム「愛老園」	件	0	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.160	0.060	38	0.155	258	0.160	103	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,547,250	823,413	53	1,504,964	183	1,573,726	105	
	事業費	40,910,120	0	0	0	-	11,000	-	
	合計	42,457,370	823,413	2	1,504,964	183	1,584,726	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	40,800,000		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,657,370	823,413	50	1,504,964	183	1,584,726	105	
合計	42,457,370	823,413	2	1,504,964	183	1,584,726	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域密着型(介護予防)サービス事業所の整備数							
指標説明(式)		認知症対応型グループホーム + 小規模多機能型居宅介護事業所の整備件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
箇所	目標	1	0	0.0	0	-	2	-	
	実績	1	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

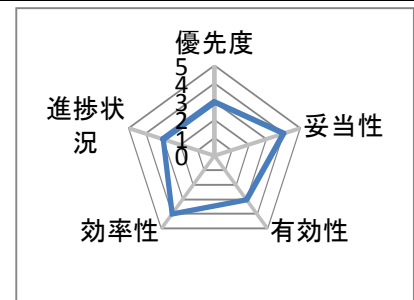
指標名1		市以外の財源の割合							
指標説明(式)		国・県の補助金／総事業費×100							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成26年度整備に向けて計画とおひか券を行ったが、小規模多機能型サービス事業所サテライト型の応募がなかったため、整備の見通しが立っていない。グループホームは、予定指定事業者が決定した。椿の園の耐震診断が遅れている。	3
効率性	負担割合の適正化	国(県)の助成制度により、地域密着型に関する補助率は10/10であるため、市の事業費は事務費・人件費のみである。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	小規模多機能型サービス事業所のサテライト型の整備見通しが立たず、また椿の園の耐震診断が当初計画より遅れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	高齢者の生命の安全確保のため、入所施設である「椿の園」の耐震診断は必要



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	全庁的な施設の整備(修繕等)計画が必要

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010200		事業の種類	
年度	27	事務事業名	介護保険事業計画策定事務		予算事業名	介護保険事業ほか 優先度 4
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名 丸山 由紀子
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	主要事業の指定	
実施計画事業名		高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定				
根拠法規及び関連法規		介護保険法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	支援を必要とする高齢者等				
	誰(何)を対象として	支援を必要とする高齢者及び要介護認定者				
	意図(どのような状態にしたいのか)	(1)健康な高齢者の増進と要介護認定者の進行防止 (2)身近な地域で必要なサービスが提供できる環境整備				

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険審議会を開催し、介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画の策定・変更・進行管理を行う。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	審議会委員数	人	10	11	10	10
	審議会開催数	回	2	4	3	4

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.108	0.732	678	0.144	20	0.160	111	
	臨時職員		0.044	-	0.016	36	0.012	75	
支出内訳	人件費	1,147,526	6,136,989	535	1,462,966	24	1,606,198	110	
	事業費	8,915,001	14,085,052	158	22,077,236	157		0	
	合計	10,062,527	20,222,041	201	23,540,202	116	1,606,198	7	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	10,062,527	20,222,041	201	23,540,202	116	1,606,198	7	
	合計	10,062,527	20,222,041	201	23,540,202	116	1,606,198	7	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		審議会開催日数							
指標説明(式)		審議会開催日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	2	4	200.0	3	75.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		高齢者1人当たりの事業費							
指標説明(式)		総事業費／年度末時の高齢者人口							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	837.1	1489.2	177.9	2335.5	156.8		0.0	
	実績	1022.5	1992.1	194.8		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠) 法令から見た 効果	介護保険法に基づく必要な計画策定となっている。	3
効率性	執行体制の 効率性	平成26年度に第6期介護保険事業計画を策定した。平成27年度から平成29年度までの事業を計画に基づき遂行している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

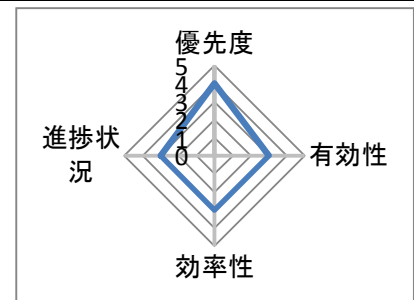
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の 効率性	第7期計画に向けたニーズ把握が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の 効率性	ケアマネジャーや介護サービス事業所にアンケート調査を実施する。



配点	32.5
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010300		事業の種類	1			
年度	27	事務事業名	介護保険料賦課事業		予算事業名	介護保険事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	友上 啓子		担当者名	尾川 真紀
取組み事項		介護サービスを充実する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		介護保険法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民							
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な保険料賦課							

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険料の賦課、通知及び収納業務を行う。							
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画			
	保険料賦課人数	人	9808	10072	10232	10282			

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.600	0.677	113	0.491	73	0.376	77	
	臨時職員		0.120	-	0.120	100	0.120	100	
支出内訳	人件費	4,929,530	5,895,529	120	4,321,196	73	3,595,774	83	
	事業費	1,390,309	912,034	66	1,062,541	117		0	
	合計	6,319,839	6,807,563	108	5,383,737	79	3,595,774	67	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,319,839	6,807,563	108	5,383,737	79	3,595,774	67	
	合計	6,319,839	6,807,563	108	5,383,737	79	3,595,774	67	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		高齢化率							
指標説明(式)		高齢者人口/相生市人口							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	30	33	110.0	33	100.0	34	103.0	
	実績	31.89	33.33	104.5	33.78	101.4			
指標名2		保険料(普通徴収)徴収率							
指標説明(式)		普通徴収収納額/普通徴収調定額							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	92.20	92.82	100.7	91.90	99.0			

【効率性】

指標名1		保険料賦課状況(一人当たりの事業費)							
指標説明(式)		事業費／保険料賦課人員							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	171	130	76.0	119	91.5	108	90.8	
	実績	142	90	63.4	103	114.4			
指標名2		口座振替利用者状況							
指標説明(式)		口座振替利用者数／普徴数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	0.2	0.2	100.0	0.3	150.0	0.3	100.0	
	実績	0.21	0.28	133.3	0.23	82.1			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	納入通知書送付時に文書を同封することにより、保険料改正について周知を行った。	5
	組織運営・適正管理	適正・確実に賦課を行った。	
効率性	手段の最適性	65歳到達時の保険証発送時に口座振替の依頼書を同封して、口座振替利用者の増加を目指した。また、口座振替依頼書の様式を他の税目と同じ用紙に変更したことにより、利用者の利便性が向上した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

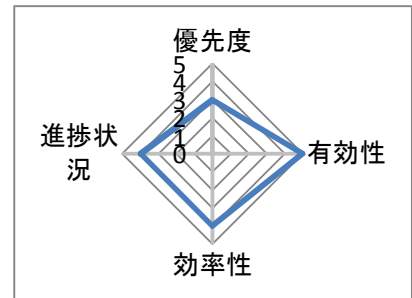
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	給付制限につながらないよう、保険料の徴収率を上げることが課題である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	保険料や保険者証送付時のマフンを改善し、保険料の利用目的や介護保険制度の周知を図ることにより、利用者の納付意識を高め、徴収率の向上を目指す



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010400		事業の種類	1				
年度	27	事務事業名	介護認定審査会事業		予算事業名	介護保険事業		優先度	3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部健康介護課				
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	友上 啓子		担当者名	室井 良太	
取組み事項		介護サービスを充実する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		介護保険法								
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等								
	誰(何)を対象として	介護を必要とする高齢者等								
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護認定審査の適正な実施								

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険認定審査会を開催し、要介護判定を行い、要介護認定結果を通知する。							
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画			
	要介護認定調査件数	件	1927	1938	1962	2160			
	要介護認定審査件数	件	1891	1916	1930	2160			

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.854	0.824	96	0.860	104	0.992	115	
	臨時職員	0.780	0.200	26	0.200	100	0.200	100	
支出内訳	人件費	8,786,008	7,228,885	82	7,283,574	101	8,652,782	119	
	事業費	2,509,680	2,541,500	101	2,566,080	101	2,515,000	98	
	合計	11,295,688	9,770,385	86	9,849,654	101	11,167,782	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	11,295,688	9,770,385	86	9,849,654	101	11,167,782	113	
	合計	11,295,688	9,770,385	86	9,849,654	101	11,167,782	113	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		平均介護認定事務処理日数							
指標説明(式)		延べ介護認定事務処理日数 / 認定審査件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
日	目標	30	30	100.0	30	100.0	30	100.0	
	実績	30	35	116.7	31	88.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		認定調査状況(1件当たりの調査費)							
指標説明(式)		(目)認定調査等費/調査件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7645	8072	105.6	8025	99.4	8550	106.5	
	実績	7518	8044	107.0	8402	104.5			

指標名2		認定審査状況(1件当たりの審査費)							
指標説明(式)		(目)介護認定審査会費/審査件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1223	1275	104.3	1277	100.2	1164	91.2	
	実績	1327	1326	99.9	1350	101.8			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から認定までの業務を概ね適正に処理できている。処理日数に目標日数にかかったケースもあるため今後も検討が必要。	3
	成果の向上	申請時期や適正な申請について窓口指導を行っている。	
効率性	執行体制の効率性	調査員の増員により、調査体制が安定した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

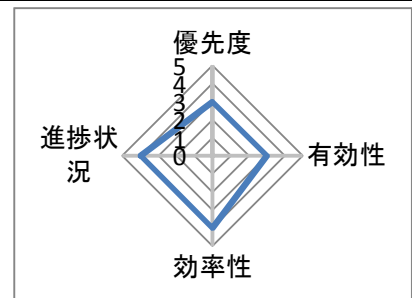
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	訪問調査日と主治医意見書作成日のかい離があり、再調査または再依頼になったケースがあった。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	訪問調査日と主治医意見書作成日がかい離しすぎないように、調査日を適正に設定し、各医療機関と連絡を図りたい。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302010500		事業の種類	1			
年度	27	事務事業名	認定調査事業	予算事業名	介護保険事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	室井 良太	
取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	介護保険法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護を必要とする高齢者等					
	誰(何)を対象として	介護を必要とする高齢者等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護認定調査の適正な実施					

2 事業の概要 Do

実施の概要	要介護認定申請を受け、要介護認定調査を実施する					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	介護認定調査員	人	8	9	9	9
	要介護認定調査	件	1927	1938	1962	2160

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.144	0.053	37	0.120	226	0.040	33	
	臨時職員	0.684	0.600	88	0.592	99	0.632	107	
支出内訳	人件費	3,093,902	2,227,177	72	2,734,342	123	2,340,958	86	
	事業費	14,487,415	15,588,742	108	15,372,472	99	18,469,000	120	
	合計	17,581,317	17,815,919	101	18,106,814	102	20,809,958	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	17,581,317	17,815,919	101	18,106,814	102	20,809,958	115	
	合計	17,581,317	17,815,919	101	18,106,814	102	20,809,958	115	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	介護認定調査件数								
指標説明(式)	介護認定調査件数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2170	2062	95.0	2054	99.6	2160	105.2	
	実績	1927	1938	100.6	1962	101.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		認定調査状況(1件当たりの調査費)							
指標説明(式)		(目)認定調査等費/調査件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7645	8071	105.6	8026	99.4	8550	106.5	
	実績	7518	8044	107.0	8402	104.5			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	申請から調査までの業務を概ね適正に処理出来ている。人員確保により処理日数の短縮が図れている。	3
	成果の向上	新人調査員の研修受講、調査員間での確認作業の実施により、より適正な調査となっている。	
効率性	執行体制の効率性	調査員の確保により、調査の体制が安定した。	4
	コストの節減	調査体制の安定に伴い、調査員間の確認作業を実施できるようになり、事務局業務の効率が上がった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

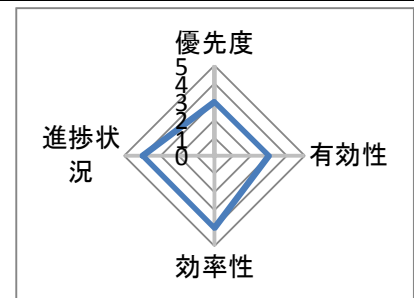
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	介護認定申請者数は増加傾向にあるため、効率化が求められる。昨年に引き続き、認定期間延長により認定件数を減少させコストを抑える。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	障害サービスから介護保険サービスへスムーズに移行するため、業務の効率化を図る。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010600		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	介護保険給付事務		予算事業名	介護保険事業ほか	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	富田 智美
取組み事項	介護サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護サービス利用者					
	誰(何)を対象として	介護サービス利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護状態となった者が有する能力に応じた、必要な介護サービスの利用					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険給付情報を管理し、介護サービス費等を支給する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	認定者数	人	1758	1812	1851	1860	
	保険給付費総額	円	2395654964	2494431447	2549960312	2665690000	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.580	0.528	91	0.248	47	0.618	249	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	4,775,790	4,449,477	93	2,200,790	49	5,172,690	235	
	事業費	2,395,654,964	2,494,431,447	104	2,549,960,312	102	2,665,690,000	105	
	合計	2,400,430,754	2,498,880,924	104	2,552,161,102	102	2,670,862,690	105	
財源内訳	国庫支出金	544,403,303	573,092,667	105	585,739,645	102	608,683,000	104	
	県支出金	351,329,000	372,573,000	106	374,937,000	101	389,775,000	104	
	市債			-		-		-	
	その他	1,176,701,190	1,222,620,147	104	1,267,256,481	104	1,327,697,000	105	
	一般財源	327,997,261	330,595,110	101	324,227,976	98	344,707,690	106	
	合計	2,400,430,754	2,498,880,924	104	2,552,161,102	102	2,670,862,690	105	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たり保険給付費総額/年間							
指標説明(式)		保険給付費総額(=事業費)/認定者数(年度末)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1402172	1401631	100.0	1458476	104.1	1433166	98.3	
	実績	1365432	1376617	100.8	1377612	100.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

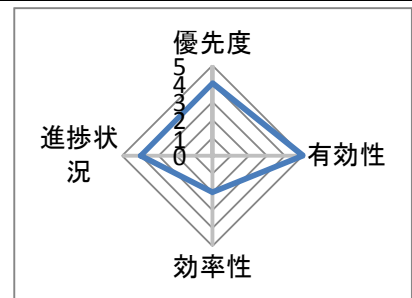
指標名1		高齢者一人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費総額／年度末時の高齢者人口							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	252,813	264,959	104.8	260,866	98.5	259,258	99.4	
	実績	244,742	245,732	100.4	248,509	101.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	要介護認定者、給付費とも事業計画の計画値の範囲内で推移しており、適正な制度管理を行っている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	介護保険法に基づき適正な介護サービス費の支給を行った。	
効率性	コストの節減	介護保険に係る制度周知や各種サービス事業所の整備、高齢化率の増加等により一人当たり事業費は増加している。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業所への実地指導や監査、ケアプランチェック等の適正化を行い、介護給付費の適正化を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	平成28年度より小規模通所介護事業所が、地域密着型サービスに移行し、市が指定権者等になったため、きめ細やかな指導を行う必要がある。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010700	事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	家族介護用品支給事業	予算事業名	家族介護用品支給事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	
取組み事項		介護サービスを充実する		担当者名	古川 由紀	
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護用品支給事業実施要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の寝たきりや認知症の高齢者を介護している家族				
	誰(何)を対象として	要介護4相当以上の寝たきりや認知症の高齢者を介護している市民税非課税世帯に該当する家族				
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護用品を支給し、当該介護者又は寝たきり高齢者等の精神的、経済的負担を軽減				

2 事業の概要 Do

実施の概要		紙おむつ尿取りパットの介護用品代を年10万円の範囲内で支給する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	支給人数	人	6	15	12	15

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.020	0.048	240	0.020	42	0.080	400	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	471,070	730,437	155	494,894	68	945,086	191	
	事業費	541,370	814,612	150	759,480	93	1,500,000	198	
	合計	1,012,440	1,545,049	153	1,254,374	81	2,445,086	195	
財源内訳	国庫支出金	213,841	321,771	150	296,197	92	585,000	198	
	県支出金	106,921	160,885	150	148,099	92	292,500	198	
	市債			-		-		-	
	その他	113,688	171,068	150	167,086	98	330,000	198	
	一般財源	577,990	891,325	154	642,992	72	1,237,586	192	
	合計	1,012,440	1,545,049	153	1,254,374	81	2,445,086	195	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数							
指標説明(式)		支給人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	7	8	114.3	15	187.5	15	100.0	
	実績	6	15	250.0	12	80.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費／支給人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	90228	54307	60.2	63290	116.5			

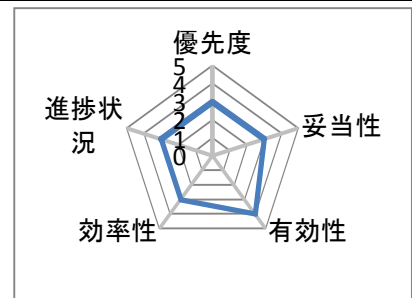
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民税非課税世帯の内、要介護4相当以上の寝たきり高齢者等を介護している世帯は多くないので、支給者数は少ない	4
	上位施策への貢献度	在宅生活の維持が図られる事によって、高齢者にとって住み慣れた地域での生活継続が、市にとっては施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる	
効率性	手段の最適性	対象介護用品に、使い捨て手袋、清拭剤を加えた。今後も定期的に必要性に考慮して対象品の検討をする	3
	手段の最適性	市が発行した給付券との引き換えにより納品する仕組みにより、不正受給の防止が図られている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	周知を継続し、利用者の増加を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	広報誌等への掲載、ケアマネ、民生委員等への周知を図り、利用者の増加・維持を図る。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302010800		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	家族介護慰労金支給事業		予算事業名	家族介護慰労金支給事業 優先度 3		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	古川 由紀
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市家族介護慰労金支給事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護保険サービスを使わずに、在宅で寝たきり相当の高齢者を介護している家族						
	誰(何)を対象として	過去1年間介護保険給付のサービスを利用することなく(7日以内のショートステイは除く)要介護4相当以上の高齢者を介護している家族						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者及び介護者に慰労金を支給することで介護にかかる精神的・経済的負担を軽減するとともに、家族介護が可能な家庭はできるだけそれを促すことで介護保険給付の軽減を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		家族介護慰労金年12万円支給する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	支給人数	人	1	1	2	1	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.020	0.004	20	0.024	600	0.020	83	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	471,070	389,525	83	524,822	135	473,606	90	
	事業費	120,000	120,000	100	240,000	200	120,000	50	
	合計	591,070	509,525	86	764,822	150	593,606	78	
財源内訳	国庫支出金	47,000		0	93,600	-	46,800	50	
	県支出金	23,000		0	46,800	-	23,400	50	
	市債			-		-		-	
	その他	25,200		0	52,800	-	26,400	50	
	一般財源	495,870	509,525	103	571,622	112	497,006	87	
	合計	591,070	509,525	86	764,822	150	593,606	78	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		支給人数							
指標説明(式)		支給人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	2	100.0	2	100.0	1	50.0	
	実績	1	1	100.0	2	200.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		人数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷支給人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	381,905	566,963	148.5	352,137	62.1	593,606	168.6	
	実績	591,070	509,525	86.2	382,411	75.1			

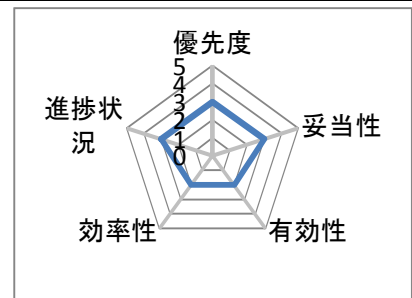
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	在宅生活の支えとなるほどの補助額を出せるわけでは無く、施設整備・保険料の抑制にまで効果があるかは判断が難しい。	2
	成果の向上	支給実績の向上を図る必要がある反面、慰労金を得るために必要な介護が疎かにならないよう配慮する必要がある。	
効率性	手段の最適性	家族介護を促進するために、介護保険サービスを利用しなかった期間(1年間)と医療機関への入院期間を勘案しているが、要介護4以上の者が1年間介護サービスを使わないケースはまれである。	2
	負担割合の適正化	上記期間の検討と合わせ、要介護4以上の者の1年間の介護給付費などから支給額を検討する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	効率性について検討が困難である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	支給実績が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	周知を図る。

配点	32.5
総合評価	17.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302010900		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	成年後見制度利用支援事業	予算事業名	成年後見制度利用支援事業	優先度	4
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	古川 由紀
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市成年後見制度利用支援事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方					
	誰(何)を対象として	法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない方					
	意図(どのような状態にしたいのか)	後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない場合に、市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部					

2 事業の概要 Do

実施の概要		後見、保佐又は補助を必要とする状態にある方のうち、審判の請求をすべき親族等がない場合に、市長が審判の請求を家庭裁判所に行うとともに、成年後見人等に対する報酬の全部または一部を助成することにより、被成年後見人等の生活を支援する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	市長申立件数	件	2	0	0	3

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.052	0.080	154	0.036	45	0.112	311	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	717,054	978,373	136	614,606	63	1,196,542	195	
	事業費	18,650	0	0	216,000	-	1,018,000	471	
	合計	735,704	978,373	133	830,606	85	2,214,542	267	
財源内訳	国庫支出金	290,603		0	84,240	-	397,020	471	
	県支出金	145,302		0	42,120	-	198,510	471	
	市債			-		-		-	
	その他	154,498		0	47,520	-	223,960	471	
	一般財源	145,301	978,373	673	656,726	67	1,395,052	212	
	合計	735,704	978,373	133	830,606	85	2,214,542	267	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市長申立件数							
指標説明(式)		市長申立件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	3	150.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	2	0	0.0	0	-			
指標名2		成年後見制度利用人数							
指標説明(式)		成年後見制度利用人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	3	150.0	2	66.7	2	100.0	
	実績	0	1	-	1	100.0			

【効率性】

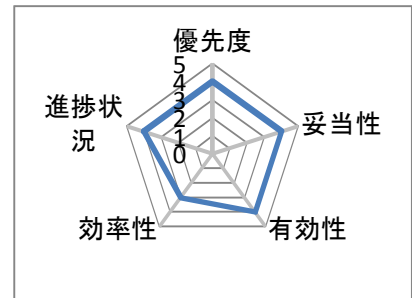
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	報酬の全部または一部の助成を受けなければ後見等の利用が困難な者を保護する事もできる事業であり、必要である。	4
効率性	手段の最適性	助成の対象者の状況をよく把握し、制度の利用について検討する必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民へ制度の周知を行いながら、後見等の相談等に対応。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	広域化に伴い、効率的な事務を目指す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	西播磨4市3町共同事業での西播磨成年後見支援センターの周知に努め、後見制度のさらなる普及を図る。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302011000		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	介護給付費等費用適正化事業		予算事業名	介護給付費等費用適正化事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	富田 智美
取組み事項		介護サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な介護サービス提供体制の確保と介護サービスの質の向上					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護サービスの利用状況の周知、確認を目的として介護給付費通知を送付する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	給付費通知	回	3	3	3	3	
	ケアプラン点検	回	-	-	3	-	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.124	155	0.164	132	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	932,290	978,373	105	1,273,022	130	1,605,158	126	
	事業費	328,939	476,964	145	395,983	83		0	
	合計	1,261,229	1,455,337	115	1,669,005	115	1,605,158	96	
財源内訳	国庫支出金	498,185	188,400	38	154,433	82	219,180	142	
	県支出金	249,093	94,200	38	77,216	82	109,590	142	
	市債			-		-		-	
	その他	264,858	100,162	38	87,116	87	123,640	142	
	一般財源	249,093	1,072,575	431	1,350,240	126	1,152,748	85	
	合計	1,261,229	1,455,337	115	1,669,005	115	1,605,158	96	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付費通知1件当たりに対する給付費総額							
指標説明(式)		給付費総額/給付費通知発送料							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	9629	9499	98.6	8794	92.6	8278	94.1	
	実績	9432	9139	96.9	8444	92.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	国保連合会のモデル事業として「ケアプラン点検」を実施し、介護サービスの質の向上を図るとともに、指導監査等に係る体制整備などを行う。	5
	市民サービス	通知を送付することによって、実際の給付費がどれだけかかっているのかを確認してもらえ、給付費の抑制を促すことにつながっている。	
効率性	手段の最適性	介護保険制度について、実際に介護給付を受けている全ての対象者に対し通知を送付することで、制度の周知ができています。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりである。	4

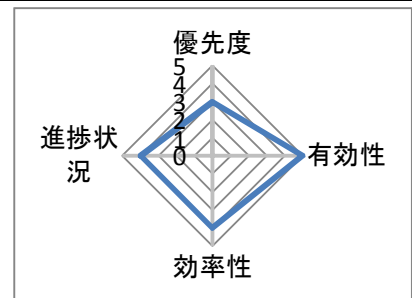
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	給付費通知は定期的に送っているが、介護給付費の適正化にまで至っていない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	定期的に送付している給付費通知に、適正化を促すチラシ(同居家族有の家事援助・軽度者のレンタル等)を同封する。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302020100		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	しあわせ基金事業	予算事業名	しあわせ基金事業	優先度	5
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市しあわせ基金条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者の福祉の向上					
	誰(何)を対象として	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会					
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会福祉協議会、ボランティア団体、高年クラブ連合会の高齢者在宅福祉の向上事業に対して補助金を交付する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会福祉協議会、ボランティア協会及び高年クラブ連合会の実施する高齢者等送迎サービス、在宅介護者の会への支援事業等、在宅高齢者への支援事業に補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	リフトバス派遣回数	回	622	647	613	700	
	在宅介護者支援事業実施回数	回	22	23	23	22	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.050	0.052	104	0.072	138	0.072	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	701,680	761,429	109	883,958	116	882,222	100	
	事業費	2,340,000	1,250,000	53	1,462,000	117	1,439,000	98	
	合計	3,041,680	2,011,429	66	2,345,958	117	2,321,222	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	1,250,000	1,197,320	96	1,462,000	122	1,439,000	98	
	一般財源	1,791,680	814,109	45	883,958	109	882,222	100	
合計	3,041,680	2,011,429	66	2,345,958	117	2,321,222	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		活動実績							
指標説明(式)		リフトバス派遣回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	700	700	100.0	700	100.0	700	100.0	
	実績	622	647	104.0	613	94.7			
指標名2		活動実績							
指標説明(式)		在宅介護者支援事業回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	30	22	73.3	22	100.0	22	100.0	
	実績	22	23	104.5	23	100.0			

【効率性】

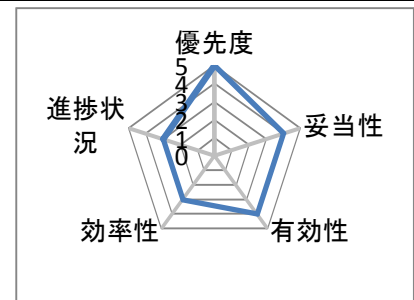
指標名1		活動実績の1件当たり補助金コスト(リフトバス)							
指標説明(式)		支出事業費÷リフトバス派遣回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1164	1507	129.5	1000	66.4	857	85.7	
	実績	1310	1289	98.4	856	66.4			
指標名2		活動実績の1件当たり補助金コスト(在宅介護者支援事業)							
指標説明(式)		支出事業費÷在宅介護者支援事業							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6000	7500	125.0	10750	143.3	6272	58.3	
	実績	8181	7014	85.7	7696	109.7			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	平成27年度は、社協に対し、新規事業(外出付き添い事業)への補助を行ったが、社会情勢等の変化に伴い市民ニーズも変化するため、適宜事業内容の見直しを図る必要がある。	4
効率性	手段の最適性	基金の運用益が事業費の一部にあてられている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	社会情勢の変化を鑑み、市民ニーズ等も把握し、補助団体と協力し、有効な事業を展開していく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	今後も事業の内容を適宜見直し、検討していく。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302020300		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	高齢者ホームヘルプサービス事業	予算事業名	高齢者ホームヘルプサービス事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者ホームヘルプサービス事業運営要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	日常生活を営むのに支障のある自立の在宅高齢者					
	誰(何)を対象として	日常生活の手助けを必要としながら手助けを得られていない高齢者(病気やけが等一時的な場合に限る)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	日常生活を営むのに支障のある高齢者が日常家事の手助けを受けとることにより自宅で自立した生活が営まれるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		週1回1時間程度、ホームヘルパーが対象者宅へ出向き、家事援助を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	延べ利用者数	人	24	24	24	36	
	延べ利用時間	時	74	71	69	156	

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.060	0.052	87	0.080	154	0.080	100	
	臨時職員		0.004	-	0.004	100	0.004	100	
支出内訳	人件費	778,550	771,149	99	953,890	124	955,910	100	
	事業費	116,160	111,048	96	105,570	95	242,000	229	
	合計	894,710	882,197	99	1,059,460	120	1,197,910	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	14,800	14,200	96	13,800	97	31,200	226	
	一般財源	879,910	867,997	99	1,045,660	120	1,166,710	112	
合計	894,710	882,197	99	1,059,460	120	1,197,910	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用者数							
指標説明(式)		延べ利用者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	48	36	75.0	36	100.0	36	100.0	
	実績	24	24	100.0	24	100.0			
指標名2		延べ利用時間数							
指標説明(式)		延べ利用時間数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
時	目標	120	120	100.0	156	130.0	156	100.0	
	実績	74	71	95.9	69	97.2			

【効率性】

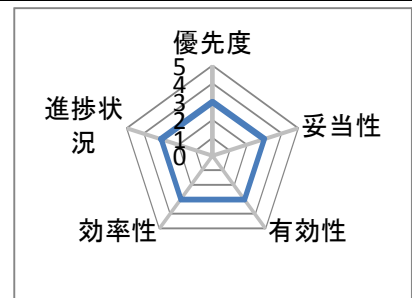
指標名1		利用1時間当たりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費(人件費含む)／延べ利用時間							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6542	6495	99.3	7666	118.0	7679	100.2	
	実績	12091	12425	102.8	15354	123.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	介護認定を受けた市民は介護保険サービスに移行するために、利用者・利用回数が減少傾向である。	3
	市民サービス	ひとり暮らし高齢者が増加傾向にある中、介護認定は受けていないが病気や怪我等で、一時的にホームヘルプサービスが必要な市民にとって、有効なサービスである。	
効率性	コストの節減	介護保険給付基本単位を基に、適正な委託料・利用者負担金の設定に努める。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	事業の該当者にサービスの周知をすることが困難である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	新総合事業の検討際に事業を見直す。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020400	事業の種類	1
年度	27	事務事業名	老人医療費助成事業	予算事業名	老人医療費助成事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名		老人医療費助成事業		担当者名	藤田 達郎
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢者(65歳~69歳)の老人医療費助成対象者			
	誰(何)を対象として	高齢者(65歳~69歳)の老人医療費助成対象者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす			

2 事業の概要 Do

実施の概要		老人(65歳~69歳)の医療費の一部を助成する				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	助成費	円	18,101,427	16,295,069	20806245	22000000
	助成件数	件	6,060	6,079	6850	6300
	平均受給者数	人	363	374	418	420

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.264	0.286	108	0.262	92	0.272	104	
	臨時職員	0.026	0.026	100	0.018	69	0.026	144	
支出内訳	人件費	2,410,164	2,637,641	109	2,350,880	89	2,524,178	107	
	事業費	18,101,427	16,295,069	90	20,806,245	128	22,000,000	106	
	合計	20,511,591	18,932,710	92	23,157,125	122	24,524,178	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	4,991,482	4,801,713	96	6,074,266	127	6,432,000	106	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	15,520,109	14,130,997	91	17,082,859	121	18,092,178	106	
合計	20,511,591	18,932,710	92	23,157,125	122	24,524,178	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの老人医療費助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	54,008	53,381	98.8	48,000	89.9	53000	110.4	
	実績	49,866	43,570	87.4	49776	114.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

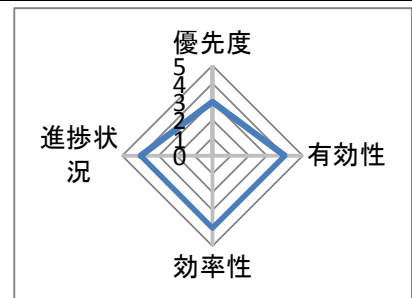
指標名1		老人医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	411	380	92.5	437	115.0	401	91.8	
	実績	398	434	109.0	343	79.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	65歳から69歳の老人に対し、医療費の一部を助成することにより、これらの者の福祉の増進を図ることができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	ほぼ横ばいである。	4
	執行体制の効率性	年齢到達で該当する者等に対して、申請案内をするなど迅速、適正な事務処理を行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	65歳～69歳で、住民税非課税世帯の者については、区分に応じて福祉医療費を支給している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	現下の情勢、財政事情を踏まえつつ、所得要件の見直しを検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	現下の情勢、財政事情を踏まえつつ、所得要件の見直しを検討する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020500	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業	予算事業名	鍼灸マッサージ施療費助成事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	濱田 隆子
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		老人鍼灸・マッサージ等施療費助成規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の住民			
	誰(何)を対象として	65歳以上の鍼灸・マッサージ等施療利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	鍼灸・マッサージ等施療費の一部を助成することにより、健康を保ち、健やかに暮らす			

2 事業の概要 Do

実施の概要		65歳以上の鍼灸マッサージ施療利用者に施療費の一部を助成				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	助成費	円	3,074,000	3,344,000	2,795,000	3,680,000
	助成回数	回	3,074	3,344	2,795	3,680
	申請者数	人	504	538	483	600
	対象者数	人	9,841	10,151	10,261	10,261

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.041	171	0.041	100	
	臨時職員	0.026	0.026	100	0.009	35	0.013	144	
支出内訳	人件費	565,284	607,665	107	674,687	111	673,802	100	
	事業費	3,074,000	3,344,000	109	2,795,000	84	3,680,000	132	
	合計	3,639,284	3,951,665	109	3,469,687	88	4,353,802	125	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,639,284	3,951,665	109	3,469,687	88	4,353,802	125	
	合計	3,639,284	3,951,665	109	3,469,687	88	4,353,802	125	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの鍼灸・マッサージ施療助成回数							
指標説明(式)		受診回数/申請人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6.1	6.1	100.0	6.1	100.0	6.1	100.0	
	実績	6.1	6.2	101.6	5.8	93.5			
指標名2		対象者にかかる申請率							
指標説明(式)		申請人数/対象者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	6.5	6.1	93.8	5.9	96.7	5.8	98.3	
	実績	5.1	5.3	103.9	4.7	88.7			

【効率性】

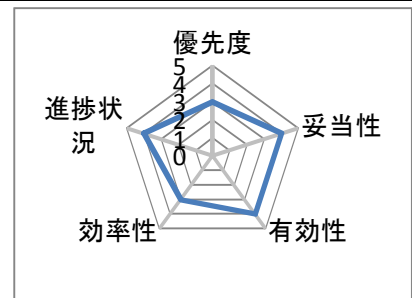
指標名1		鍼灸・マッサージ施療助成1回当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)/回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,139	1,154	101.3	1,153	99.9	1183	102.6	
	実績	1,184	1,182	99.8	1241	105.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に占める申請者の割合、申請者1人当りの助成回数はほぼ横ばいであり、適正な助成を行った。	4
	市民サービス	施療費を助成することにより、経済的負担を軽減することができた。	
効率性	コストの節減	1件当りのコストは、1人当りの助成限度を12回に減少させたことにより、延べ助成回数が増加したため、上昇した。	3
	手段の最適性	適正な助成を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	優先性の観点から、助成内容の見直しを検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	緊急性・優先性	現下の情勢、財政事情を踏まえつつ、助成内容の見直しを検討する。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020600		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	高齢重度障害者医療費助成事業		予算事業名	高齢重度障害者医療費助成事業 優先度 3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	藤田 達郎
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		高齢重度障害者医療費助成要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢重度障害者医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	高齢重度障害者医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢かつ重度の障害があると認定された者に対し、医療費の一部を高齢重度障害者医療費として助成する					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	助成費	円	29,828,402	28,780,285	27,952,238	30,630,000	
	助成件数	件	7,293	7,100	7,086	7,800	
	平均受給者数	人	318	310	312	326	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.232	0.251	108	0.185	74	0.185	100	
	臨時職員	0.026	0.026	100	0.013	50	0.019	146	
支出内訳	人件費	2,164,180	2,366,461	109	1,762,171	74	1,821,590	103	
	事業費	29,828,402	28,780,285	96	27,952,238	97	30,630,000	110	
	合計	31,992,582	31,146,746	97	29,714,409	95	32,451,590	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	12,746,672	12,200,493	96	11,660,618	96	13,361,000	115	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	19,245,910	18,946,253	98	18,053,791	95	19,090,590	106	
合計	31,992,582	31,146,746	97	29,714,409	95	32,451,590	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの高齢重度障害者医療助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	95,070	102,754	108.1	103,385	100.6	93,957	90.9	
	実績	93,800	92,840	99.0	89,591	96.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		高齢重度障害者医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	275	285	103.6	302	106.0	236	78.1	
	実績	297	333	112.1	249	74.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会的、経済的に弱い立場の高齢重度障害者に対し、適正な医療費助成を行うことにより、目標が達成できた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	ほぼ横ばいである。	3
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速、適正な事務処理体制を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	高齢重度障害者の疾病等について医療保険給付が行われた場合において、一部負担金を控除した額を支給している。(所得制限あり。)	4

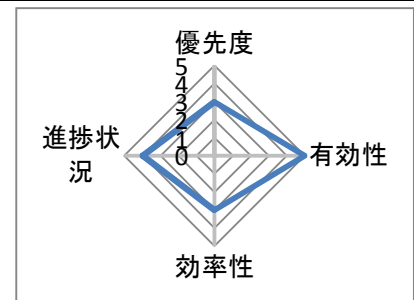
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	医療費の動向を注視しながら、事業を継続していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	医療費適正化等の取組みの一層の強化を図る。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020800	事業の種類	1
年度	27	事務事業名	高齢者特別給付金支給事業	予算事業名	高齢者特別給付金支給事業 優先度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博
取組み事項		介護予防などを推進する		担当者名	中本 光早子
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市外国籍高齢者等福祉給付金支給要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	国民年金受給権のない在日外国籍高齢者等			
	誰(何)を対象として	国民年金受給権のない在日外国籍高齢者等			
	意図(どのような状態にしたいのか)	福祉給付金を支給することにより、その生活の安定と福祉の向上を目指す			

2 事業の概要 Do

実施の概要		国民年金制度上、国民年金の受給資格のない在日外国籍高齢者等に対し、福祉給付金を支給する				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	無年金外国籍高齢者等福祉給付金事務	人(延べ)	5	0	0	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.018	0.018	100	0.016	89	0.012	75	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	455,696	497,997	109	464,966	93	410,742	88	
	事業費	167,500	0	0	0	-	400,000	-	
	合計	623,196	497,997	80	464,966	93	810,742	174	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	83,000		0		-	196,000	-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	540,196	497,997	92	464,966	93	614,742	132	
合計	623,196	497,997	80	464,966	93	810,742	174		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付率							
指標説明(式)		受給対象者に対する給付率 $\frac{\text{受給対象者延べ人数}}{\text{給付者延べ人数}} \times 100$							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	-	-	-	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		受給者1人当たりの事務処理時間							
指標説明(式)		事務処理時間数／受給者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	35	35	100.0	35	100.0	23	65.7	
	実績	7	—	—	—	—			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			—		—		—	
	実績			—		—		—	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	対象者なし。	3
	成果目標(改善)達成度	対象者なし。	
効率性	コストの節減	対象者なし。	3
	執行体制の効率性	対象者なし。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者なし。	3

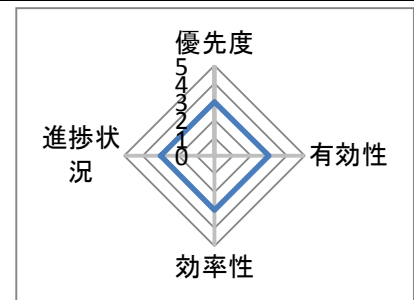
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	在日外国籍高齢者等の無年金問題は、本来、国の責任において実施すべき施策である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	関係機関を通じて、国に代替施策の実施を要望していく。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302020900		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	老人短期入所運営事業		予算事業名	老人短期入所運営事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	富田 智美
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市老人短期入所事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者					
	誰(何)を対象として	身体的、社会的な理由で一時的にホームでの援護が必要な高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生活習慣等の指導及び体調調整を行う					

2 事業の概要 Do

実施の概要		身体的、社会的な理由で一時的にホームでの援護が必要な高齢者に生活習慣等の指導及び体調調整を行う					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	利用人数	人	1	1	4	5	
	短期入所日数	日	12	31	69	50	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.016	0.032	200	0.140	438	0.032	23	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	440,322	606,469	138	1,392,734	230	567,902	41	
	事業費	53,065	127,130	240	276,610	218	235,000	85	
	合計	493,387	733,599	149	1,669,344	228	802,902	48	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	4,680	12,090	258	26,910	223	32,500	121	
	一般財源	488,707	721,509	148	1,642,434	228	770,402	47	
合計	493,387	733,599	149	1,669,344	228	802,902	48		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	1	1	100.0	4	400.0			
指標名2		短期入所日数							
指標説明(式)		短期入所日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
日	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	12	31	258.3	69	222.6			

【効率性】

指標名1		1人あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/利用人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40,600	40,600	100.0	40,600	100.0	47,000	115.8	
	実績	53,065	127,130	239.6	69,152	54.4			
指標名2		1日当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/短期入所日数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,060	4,060	100.0	4,060	100.0	4,700	115.8	
	実績	4,422	4,101	92.7	4,008	97.7			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	養護老人ホームの空床を利用してサービス提供する事業で、入所者の入院等例え一時的にせよ空床が生じない限り利用に結びつかない。	4
	成果の向上	虐待等やむを得ない場合の”つなぎ”としても活用できる。	
効率性	手段の最適性	高齢者虐待における世帯分離を図る手段として有効であり、措置者たる市が事業実施する必要がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

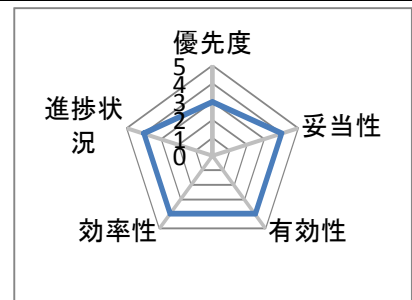
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	養護老人ホームとの連携の必要性

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	平成28年度より委託料等の改定を行った。送迎時の加算を取り入れたことにより、施設での対応も可能となった。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021000	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	高齢者デイサービス運営事業	予算事業名	高齢者デイサービス運営事業
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課	
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規	相生市高齢者デイサービス事業実施要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	家に閉じこもりがちな高齢者			
	誰(何)を対象として	家に閉じこもりがちな高齢者で要介護・要支援の認定を受けていない者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会的孤立感を解消し、要介護状態に陥るのを防止する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	デイサービス事業所又はミニデイサービス事業所において、対象者に健康チェック・入浴サービス・給食サービス等の提供を通して、高齢者の在宅生活を支援する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	デイ延利用者数	人	283	172	107	90
	デイ延利用回数	回	548	336	204	540
	ミニデイ延利用者数	人	158	167	134	180
	ミニデイ延利用回数	回	220	233	191	300

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.040	0.012	30		0		-	
	臨時職員		0.004	-	0.004	100	0.004	100	
支出内訳	人件費	624,810	461,229	74	355,330	77	327,270	92	
	事業費	2,140,864	1,510,140	71	1,016,210	67	2,277,000	224	
	合計	2,765,674	1,971,369	71	1,371,540	70	2,604,270	190	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,765,674	1,971,369	71	1,371,540	70	2,604,270	190	
	合計	2,765,674	1,971,369	71	1,371,540	70	2,604,270	190	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用者数の増減							
指標説明(式)		延べ利用者数(デイ・ミニデイ)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	660	550	83.3	380	69.1	270	71.1	
	実績	441	336	76.2	241	71.7			
指標名2		延べ利用回数の増減							
指標説明(式)		延べ利用回数(デイ・ミニデイ)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	1380	1000	72.5	800	80.0	840	105.0	
	実績	768	569	74.1	395	69.4			

【効率性】

指標名1		利用1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総費用／延べ利用回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3118	3809	122.2	3970	104.2	3100	78.1	
	実績	3601	3464	96.2	3472	100.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	認定を受けた市民は、介護保険サービスに移行するため、利用者・回数ともに減少傾向にある。	3
	市民サービス	閉じこもり防止によって、心身の健全化が図れ、高齢者が要介護の状態に陥る危険性を軽減できる。	
効率性	コストの節減	介護保険給付基本単位を基に、適正な委託料・利用負担金の設定に努めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである	3

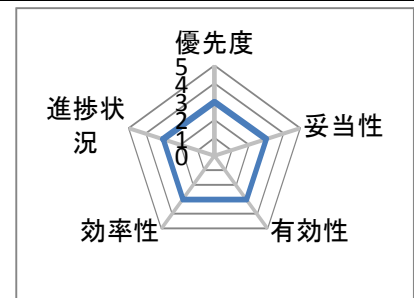
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	申請者数の減少が続いているため、事業の検討は必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新総合事業の検討時に事業を見直す。



配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021100		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	高齢者日常生活用具給付等事業		予算事業名	高齢者日常生活用具給付等事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	古川 由紀
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市老人日常生活用具給付等事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅高齢者					
	誰(何)を対象として	市民税非課税の65歳以上の高齢者のみの世帯で、火の始末が特に不安な者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	電磁調理器や自動消火器を給付等し、在宅生活を支援する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		防火等に配慮の必要な対象者に対し、電磁調理器は1万6千円、自動消火器は2万6千円を限度に給付し、在宅生活を支援する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	給付人数	人	0	5	2	4	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.016	0.036	225	0.004	11	0.040	1,000	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	440,322	637,461	145	375,182	59	630,766	168	
	事業費	0	66,028	-	33,640	51	94,000	279	
	合計	440,322	703,489	160	408,822	58	724,766	177	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	440,322	703,489	160	408,822	58	724,766	177	
合計	440,322	703,489	160	408,822	58	724,766	177		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付人数							
指標説明(式)		給付人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	5	4	80.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	0	5	-	2	40.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		総経費/給付人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	124,762	211,981	169.9	178,359	84.1	181,192	101.6	
	実績	0	140,698	-	204,411	145.3			

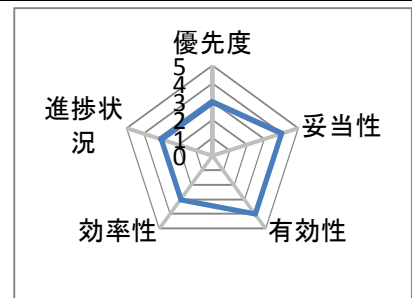
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	防火配慮が必要な一人暮らし高齢者の在宅生活を支える上で必要な事業である。H26年度についてはケアマネ等の周知の成果もあり、利用件数が増加した。	4
	市民サービス	ひとり暮らし高齢者が増え、市内には老朽化木造住宅が多い中、在宅生活の継続に加え防災上、有効な市民サービスである。	
効率性	手段の最適性	電磁調理器の給付は有効であるが、ガスを遣いなれた高齢者には抵抗がある上、ガス使用の危険性の認識が薄い高齢者が少なくない。給付のみならず、抵抗感の除去や危険性の認識を高める必要がある。	3
	執行体制の効率性	家族、ケアマネージャー、民生委員、業者等関係者に協力してもらい、申請から取り付けまでの調整を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	給付する用具について、より最適な用具の情報収集を行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	用具に関する情報収集を行うとともに、広報誌、ケアマネ等に周知を図る。

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021200		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	高齢者等住宅改造助成事業		予算事業名	高齢者等住宅改造助成事業 優先度 3		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	古川 由紀
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者等住宅改造助成事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	要介護者及び心身障害者						
	誰(何)を対象として	日常生活を営む上で支障がある高齢者及び心身障害者が居住する住宅						
	意図(どのような状態にしたいのか)	住宅改造により対象者が住み慣れた住宅で安心して自立した生活ができるようにする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		日常生活に支障をきたしている高齢者等の住宅を改造する費用を、世帯の課税状況に応じて、改造対象経費の3分の1～10/10の額を助成する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	助成件数	件	31	28	18	37	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.148	0.092	62	0.152	165	0.052	34	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,455,006	1,071,349	74	1,482,518	138	725,062	49	
	事業費	7,702,617	5,045,920	66	4,264,000	85	8,181,000	192	
	合計	9,157,623	6,117,269	67	5,746,518	94	8,906,062	155	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	3,710,000	2,442,000	66	2,132,000	87	4,090,500	192	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,447,623	3,675,269	67	3,614,518	98	4,815,562	133	
合計	9,157,623	6,117,269	67	5,746,518	94	8,906,062	155		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	38	37	97.4	39	105.4	37	94.9	
	実績	31	28	90.3	18	64.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		件数あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総経費/利用件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	270,613	269,265	99.5	254,706	94.6	240,704	94.5	
	実績	295,407	218,474	74.0	319,251	146.1			

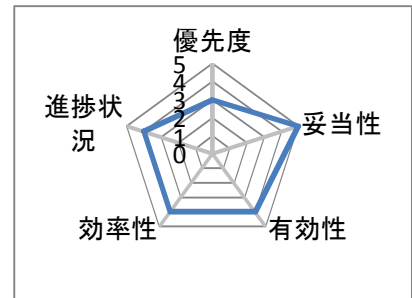
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	介護保険の住宅改修(限度額20万円)を超える工事が必要となるケースに支給され、段差解消等規模の大きい工事でも補助をうけることができる。	4
	市民サービス	身体状況に応じたバリアフリー改造を行うことで、在宅での生活を続けられる。	
効率性	コストの節減	工事内容により助成額は変化するが、現地調査時に専門家のアドバイスを受け、不要な工事は抑えられている。	4
	手段の最適性	県の補助制度に則って事業を実施している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	助成額が大きいので、県補助が無くなると実施が困難。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度改正により、簡易耐震診断の助成が拡大され、手続きが複雑化した。利用者の利便性を考慮し、他課との連携に努める。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021300		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	高齢者在宅生活支援事業		予算事業名	高齢者在宅生活支援事業 優先度		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	古川 由紀
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		・相生市訪問理・美容サービス事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅生活を望む高齢者						
	誰(何)を対象として	65歳以上のみの世帯 ・要介護2相当以上の者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		年6回を限度に理・美容師に出張整髪してもらうための交通費代を補助する						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	延べ利用回数(寝具)	回	0	0	-	-		
	延べ利用回数(理・美容)	回	19	24	17	24		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.021	0.024	114	0.040	167	0.040	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	478,757	544,485	114	644,534	118	630,766	98	
	事業費	50,000	260,000	520	246,000	95	60,000	24	
	合計	528,757	804,485	152	890,534	111	690,766	78	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	528,757	804,485	152	890,534	111	690,766	78	
	合計	528,757	804,485	152	890,534	111	690,766	78	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ利用回数の増減(寝具類の洗濯・乾燥・消毒サービス)							
指標説明(式)		延べ利用回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6	4	66.7	廃止	-	-	-	
	実績	0	0	-	-	-	-	-	
指標名2		延べ利用回数の増減(訪問理・美容サービス)							
指標説明(式)		延べ利用回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	36	30	83.3	30	100.0	24	80.0	
	実績	19	24	126.3	17	70.8	-	-	

【効率性】

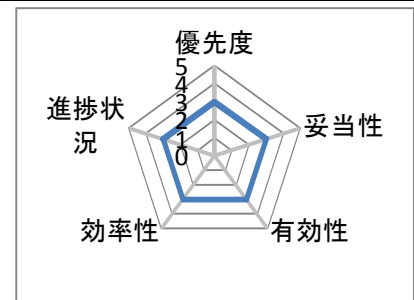
指標名1		1回あたりの事業コスト(寝具類の洗濯・乾燥・消毒サービス)							
指標説明(式)		事業費/利用回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6000	12000	200.0	廃止	-	-	-	
	実績	0	0	-	-	-	-	-	
指標名2		1回あたりの事業コスト(訪問理・美容サービス)							
指標説明(式)		事業費+人件費/利用回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	16298.8	14006	85.9	22647.8	161.7	28281.9	124.9	
	実績	27197.7	24686.9	90.8	39913.8	161.7	-	-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者により利用回数は違うが、一定の数の利用はある。	3
	市民サービス	在宅生活を、支援している家族等の負担軽減、高齢者の心身のリフレッシュを図る上で必要である。	
効率性	手段の最適性	補助金は自宅訪問のための交通費相当額とし、理・美容サービス費は実費負担とすることとしている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	新規利用者が増えていない。さらなる周知に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	さらなる周知に努め、利用者増加を目指す。実施業者が1社となっているので新規開拓にも努める。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021400	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	アイアイコール事業	予算事業名	アイアイコール事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	友上 啓子	担当者名 丸山 由紀子
取組み事項		介護予防などを推進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市アイアイコール事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	緊急時に119番通報が困難又は著しく時間のかかる高齢者			
	誰(何)を対象として	緊急性の高い疾病を有する一人暮らし高齢者や、日常生活動作に支障を来している重度身体障害者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	緊急時の生活不安を解消し、安心した在宅生活が送れるようにする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ひとり暮らしの高齢者等が、家庭内で緊急事態が発生した場合に、ボタンひとつで委託業者へ連絡ができ、速やかに対象者の援護を図ることができる緊急通報機器の貸与を行う。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	年度末時の設置台数	台	227	225	215	245
	緊急通報回数	回	34	28	25	30

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.088	0.088	100	0.120	136	0.120	100	
	臨時職員		0.004	-	0.004	100	0.004	100	
支出内訳	人件費	993,786	1,050,077	106	1,253,170	119	1,270,230	101	
	事業費	3,480,435	3,529,008	101	3,644,676	103	4,645,000	127	
	合計	4,474,221	4,579,085	102	4,897,846	107	5,915,230	121	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,474,221	4,579,085	102	4,897,846	107	5,915,230	121	
合計	4,474,221	4,579,085	102	4,897,846	107	5,915,230	121		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		設置台数(年度末時)							
指標説明(式)		設置台数(年度末時)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
台	目標	250	270	108.0	244	90.4	245	100.4	
	実績	227	225	99.1	215	95.6			
指標名2		緊急通報回数							
指標説明(式)		緊急通報回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	25	40	160.0	40	100.0	30	75.0	
	実績	34	28	82.4	25	89.3			

【効率性】

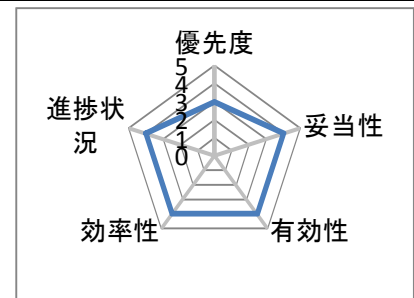
指標名1		利用者1件当たりの事業コスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)/設置台数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	15596	15630	100.2	17680	113.1	18959	107.2	
	実績	15332	15684	102.3	16952	108.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、援護を必要とする利用者にとっては、在宅支援の観点から有効的なサービスとなっている。	4
効率性	負担割合の適正化	市民税課税世帯には、設置費用の自己負担あり。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	設置者数の減少がみられるため、必要な方にサービスが提供できるよう周知を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	在宅介護支援センター等の実態把握からも必要な方にサービスを提供していく。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021500		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	お元気コール事業		予算事業名	お元気コール事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	75歳以上の一人暮らし高齢者						
	誰(何)を対象として	安否の確認を希望する75歳以上の一人暮らし高齢者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	定期的な電話を用いた安否確認により、一人暮らし生活の安心を得る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		週1回、ひとり暮らしの高齢者宅に委託業者のオペレーターが電話をし、対象者の安否確認を図る。						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	利用人数	人	62	60	60	68		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.074	0.064	86	0.080	125	0.072	90	
	臨時職員		0.004	-	0.004	100	0.004	100	
支出内訳	人件費	886,168	864,125	98	953,890	110	893,046	94	
	事業費	674,934	707,772	105	651,234	92	855,000	131	
	合計	1,561,102	1,571,897	101	1,605,124	102	1,748,046	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,561,102	1,571,897	101	1,605,124	102	1,748,046	109	
合計	1,561,102	1,571,897	101	1,605,124	102	1,748,046	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規利用申込者							
指標説明(式)		新規利用申込者							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	7	5	71.4	9	180.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

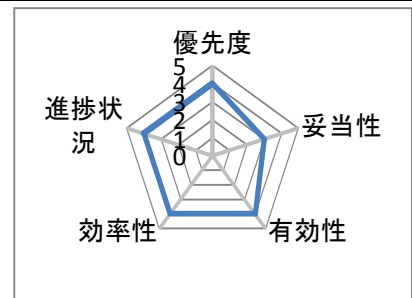
指標名1		利用者一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)／利用者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	12225	12571	102.8	12571	100.0	12573	100.0	
	実績	10886	11796	108.4	10854	92.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	電話回線が有ればサービスが利用できるため、効率的で簡単に利用できる。	4
	成果の向上	事業の周知を図り、より多くの高齢者の方が安心して在宅生活を送れるようにする必要がある。	
効率性	手段の最適性	週1回で多数の利用者安否確認ができ、電話回線を活用する事が効率的である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	電話での安否確認であるため、地域の地縁団体の協力を得、対面での確認方法の検討をしていきたい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	地域の地縁団体(高年クラブ等)の協力が得られな いか検討していく。

配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021600		事業の種類	4		
年度	27	事務事業名	ひとり暮らし老人名簿事業		予算事業名			
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		老人福祉法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市・民生委員						
	誰(何)を対象として	65歳以上の一人暮らし高齢者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	実態調査により65歳以上の一人暮らし高齢者名簿を作成する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		民生委員の協力の下、年2回定期的に現地調査を行い、対象者情報のほか緊急時の連絡先を聴き取り調査し、名簿を作成する。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	ひとり暮らし高齢者数(年度末)	人	1515	1563	1552	1560

3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				
		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.088	0.104	118	0.124	119	0.140	113	
	臨時職員		0.008	-	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費	993,786	1,183,765	119	1,293,174	109	1,438,214	111	
	事業費			-		-		-	
	合計	993,786	1,183,765	119	1,293,174	109	1,438,214	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	993,786	1,183,765	119	1,293,174	109	1,438,214	111	
	合計	993,786	1,183,765	119	1,293,174	109	1,438,214	111	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ひとり暮らし高齢者数(年度末)							
指標説明(式)		ひとり暮らし高齢者数(年度末)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1500	1550	103.3	1600	103.2	1560	97.5	
	実績	1515	1563	103.2	1552	99.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

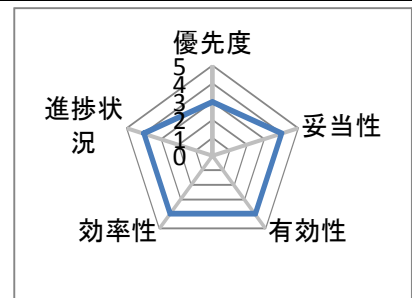
指標名1		名簿一人当たりの作成にかかる経費							
指標説明(式)		人件費／一人暮らし高齢者数(年度末)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	645	685	106.2	788	115.0	922	117.0	
	実績	647	761	117.6	833	109.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	民生児童委員の協力による戸別訪問調査のため、名簿の正確性は高く、事業目的の達成度は高い。	4
	市民サービス	安否確認はじめ必要な方へ必要なサービスを行うことができ、市民サービスの向上に役立っている。	
効率性	コストの節減	民生児童委員の個別訪問によって作成しているため、事務的経費としてのコストは発生しない。	4
	手段の最適性	地域を知る民生児童委員の戸別訪問調査によって作成しているため、名簿の正確性は高く、最適の手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	民生児童委員の調査を経て、必要な場合には、包括支援センター等専門職の訪問につなぐことができている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	民生児童委員と包括・在介との連携がよりスムーズにいくように、包括・在介に関する関係性の向上により努める。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021700	事業の種類	4
年度	27	事務事業名	火災警報器給付・取付事業	予算事業名	火災警報器給付・取付事業 優先度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課	
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	丸山 由紀子
根拠法規及び関連法規		相生市火災警報器給付・取付事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	情報弱者であり独力で火災警報器設置が困難な者			
	誰(何)を対象として	火災警報器が未設置の市民税非課税世帯に属する高齢者のみの世帯及び高齢者と重度障害者のみの世帯			
	意図(どのような状態にしたいのか)	火災警報器を設置し、火災からの安全・安心を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者宅に火災警報器を給付し、取り付ける。				
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	給付・取付件数	件	2	1	0	廃止
	給付個数	個	3	2	0	廃止

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.040	0.010	25	0.024	240		0	
	臨時職員	0.012		0		-		-	
支出内訳	人件費	654,102	436,013	67	524,822	120	316,446	60	
	事業費	8,725	6,048	69	0	0		-	
	合計	662,827	442,061	67	524,822	119	316,446	60	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	662,827	442,061	67	524,822	119	316,446	60	
合計	662,827	442,061	67	524,822	119	316,446	60		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付個数							
指標説明(式)		給付個数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
個	目標	20	10	50.0	8	80.0	廃止	-	
	実績	3	2	66.7	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

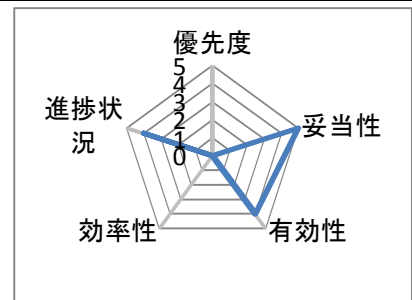
指標名1		設置1件あたりの事業コスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費)÷設置件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	30678.9	54193.3	176.6	84433	155.8	廃止	-	
	実績	331413.5	442061	133.4	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	当該事業によって災害弱者である高齢者宅への火災警報器設置がほぼ完了したと考えられ、生活の安全・安心を高めることができた。	4
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	申請件数は皆無だったため、事業の廃止は妥当である



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	15.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021800		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	老人保護措置事業		予算事業名	老人保護措置事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	富田 智美
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法、相生市老人ホーム入所措置等規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	老人ホームへの入所が必要な者					
	誰(何)を対象として	おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身の健康の保持及び生活の安定					

2 事業の概要 Do

実施の概要		おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的な理由により居宅において生活するのが困難な者を措置し、生活の安定を図る					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	年度末入所者数	人	36	37	42		
	虐待対応に伴う措置入所者数	人	0	1	2		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.240	0.248	103	0.380	153	0.240	63	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,162,210	2,280,037	105	3,188,414	140	2,202,366	69	
	事業費	69,847,733	71,935,137	103	74,970,547	104	81,273,000	108	
	合計	72,009,943	74,215,174	103	78,158,961	105	83,475,366	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	15,774,883	16,583,485	105	15,175,823	92	15,405,000	102	
	一般財源	56,235,060	57,631,689	102	62,983,138	109	68,070,366	108	
合計	72,009,943	74,215,174	103	78,158,961	105	83,475,366	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		入所人数							
指標説明(式)		入所人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	39	38	97.4	38	100.0	41	107.9	
	実績	36	37	102.8	42	113.5			
指標名2		虐待対応に伴う措置入所者数							
指標説明(式)		虐待対応に伴う措置入所者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	2	1	50.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	1	-	2	200.0			

【効率性】

指標名1		人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費/(入所人数)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	1883070	1836615	97.5	1984615	108.1	1982268	99.9	
	実績	1940214	1893030	97.6	1785013	94.3			

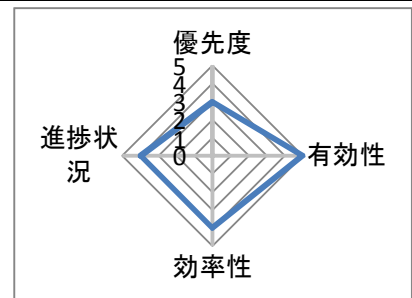
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	居宅において生活するのが困難な者を保護する事業で、セーフティーネットとして必要。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	居宅において生活するのが困難な者を措置し、心身の健康回復、生活の安定を図ることで、老人福祉法の保護措置の実現を図っている。	
効率性	手段の最適性	法第11条及び国県の技術的助言等により、適切な措置を行っている。	4
	執行体制の効率性	施設の空き情報を適宜把握するとともに、包括支援センターと連携し、対象者の発見と速やかな保護措置ができる体制づくりを図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	虐待案件での緊急入所に対しての空床確保と施設の運営管理との調整



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	関係施設との協力関係を一層強化し、事業への理解を深める。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302021900		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業	予算事業名	老人福祉施設等利用者負担額減免措置事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法、社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業実施要綱、社会福祉法人等による生活困窮者に対する介護保健サービスに係る利用者負担額減免措置事業補助金					
事業の目的	誰のために(具体的に)	社会福祉法人等が提供する介護保険の施設サービス等(特別養護老人ホーム・デイサービス・ショートステイ・ホームヘルプ)を利用している者の内、低所得で生計困難な者					
	誰(何)を対象として	生計困難な低所得者を対象に利用者負担額の軽減を実施している社会福祉法人等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者負担額軽減実施の社会福祉法人等への助成により、施設サービス等を利用する高齢者の生活の安定と必要とする介護サービスの適正な実施を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象者へ減額認定証を交付し、それを基に社会福祉法人が行った介護サービス費減額に対する補助金交付を行う。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	減額認定証交付件数	人	1	3	3	2	
	減額認定証利用件数	人	1	2	2	2	
	施設への補助金額	円	35119	87853	2	2	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.020	167	0.040	200	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	409,574	451,509	110	494,894	110	630,766	127	
	事業費	35,119	87,853	250	36,443	41	262,000	719	
	合計	444,693	539,362	121	531,337	99	892,766	168	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	26,000	65,000	250		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	418,693	474,362	113	531,337	112	892,766	168	
合計	444,693	539,362	121	531,337	99	892,766	168		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当たり減免総額							
指標説明(式)		減免総額÷減免認定利用者件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	129640	129640	100.0	131000	101.0	131000	100.0	
	実績	35119	43927	125.1	18222	41.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		一人当たり事業経費							
指標説明(式)		事業費÷減額認定証交付件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	129640	129640	100.0	131000	101.0	131000	100.0	
	実績	35119	29284	83.4	12148	41.5			

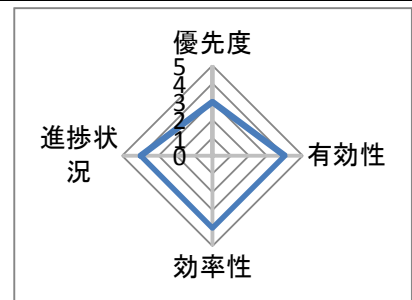
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	社会福祉法人等による利用者負担減免措置事業の実施により、低所得者が介護保険サービスを利用しやすい環境づくりに有効である。	4
	成果目標(改善)達成度	負担軽減によって低所得者の施設入所等が行いやすくなるよう事業を実施しているが、利用者実績は低い。	
効率性	負担割合の適正化	県の補助制度に則り実施しており、市の補助額の3/4相当額について県の補助金がある。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成27年度は2名の方に対し軽減が図られた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	公共性	社会福祉法人の積極的な制度への貢献体制が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	市内の社会福祉法人及びケアマネジャーへのさらなる制度の周知が必要。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022000		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	救急医療情報キット配付事業		予算事業名		
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	丸山 由紀子
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載			主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市救急医療情報キット配付事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	健康上不安を有する者					
	誰(何)を対象として	次のいずれかに該当する者①一人暮らし高齢者②高齢者のみの世帯に属する者③重度障害者のみの世帯に属する者④高齢者と重度障害者のみの世帯に属する者⑤生命に危険な病状					
	意図(どのような状態にしたいのか)	救急搬送時に役立つ情報(既往症・服用している薬剤情報・血液型・かかりつけ医・親族等の連絡先)を入れたキットを保管し、もしものときの安全・安心を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		キットに救急医療情報を入れ自宅冷蔵庫で保管してもらうとともに、キットの存在を示すステッカーを貼り、救急時に救急隊員の手を介して情報を搬送先病院に伝えることで、速やかな救急処置を図る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	配付件数	件	98	65	93	100	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.040		0		-	0.008	-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	624,810	358,533	57	345,254	96	379,310	110	
	事業費			-		-		-	
	合計	624,810	358,533	57	345,254	96	379,310	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	624,810	358,533	57	345,254	96	379,310	110	
	合計	624,810	358,533	57	345,254	96	379,310	110	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		配付件数							
指標説明(式)		配付件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	100	110	110.0	80	72.7	100	125.0	
	実績	98	65	66.3	93	143.1			
指標名2		救急搬送時のキットの活用回数							
指標説明(式)		救急搬送時のキットの活用回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	10	250.0	5	50.0	5	100.0	
	実績	6	2	33.3	5	250.0			

【効率性】

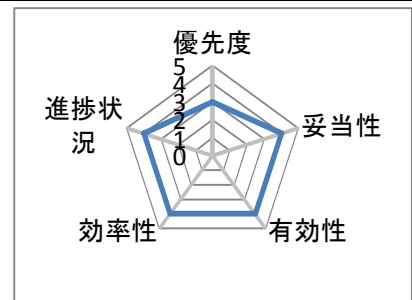
指標名1		救急医療情報キットの配付率							
指標説明(式)		配付件数の累計／4500(作成数)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	40.2	42.6	106.0	43.0	100.9	45.6	106.0	
	実績	40.2	41.3	102.7	43.3	104.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	救急搬送の際、キットを活用した事例があり、高齢者の健康維持に役立っている。	4
	成果の向上	平成27年度は外出時の安心を守る「あんしん見守り事業」と本事業の周知を目的としたポスターを作成し、関係機関に配付し周知を図った。	
効率性	コストの節減	キットは数年間分をまとめて作成するすることで、単価の軽減を図っている。	4
	手段の最適性	キット一個当たりの経費は少なく、少ない経費で大きな安心安全の効果を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りにいっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	緊急時に備えることは、必要であるため、今後も周知啓発に備える。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	広報やポスター等での啓発を図り、民生児童委員の協力も得ながら、必要な方にサービスをつなげていく。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302022100		事業の種類		9	
年度	27	事務事業名	高齢者保健福祉計画等策定に関すること		予算事業名		
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	丸山 由紀子
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	職員・市民					
	誰(何)を対象として	職員・市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の高齢者保健福祉に関する計画を策定し、高齢者保健福祉施策の充実を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者保健福祉に関する計画を3年毎に策定し、施策の充実を図る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	計画策定	件	0	1	0	0	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.020	0.128	640	0.024	19	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	471,070	1,350,277	287	524,822	39	505,038	96	
	事業費			-		-		-	
	合計	471,070	1,350,277	287	524,822	39	505,038	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	471,070	1,350,277	287	524,822	39	505,038	96	
合計	471,070	1,350,277	287	524,822	39	505,038	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		数値での評価困難							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

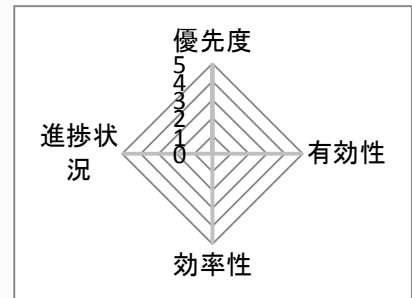
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度		
	組織運営・適正管理		
効率性	執行体制の効率性		
	コストの節減		
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022200		事業の種類	1		
年度	27	事務事業名	二次予防事業対象者把握事業		予算事業名	二次予防事業対象者把握事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市地域包括支援センター運営要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の65歳以上の高齢者とその家族等						
	誰(何)を対象として	生活機能が低下し、近い将来、要支援状態や要介護状態に陥りかねない二次予防事業対象者の把握						
	意図(どのような状態にしたいのか)	要支援状態や要介護状態に陥らないよう、介護予防を図る						

2 事業の概要 Do

実施の概要		包括支援センターに委託し、対象者本人や家族、または地域からの情報により二次予防事業対象者を把握し、訪問等により支援し、必要な介護予防事業等へ繋げる。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	二次予防事業対象者数	人	590	629	560	513	
	二次予防事業の参加者数	人	88	89	41	50	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.100	0.032	32	0.084	263	0.044	52	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,086,030	606,469	56	973,742	161	662,198	68	
	事業費	3,903,080	4,530,981	116	4,103,760	91	3,000,000	73	
	合計	4,989,110	5,137,450	103	5,077,502	99	3,662,198	72	
財源内訳	国庫支出金	975,770	1,789,737	183	1,025,940	57	750,000	73	
	県支出金	487,885	894,868	183	512,970	57	375,000	73	
	市債			-		-		-	
	その他	1,951,540	951,506	49	2,051,880	216	1,500,000	73	
	一般財源	1,573,915	1,501,339	95	1,486,712	99	1,037,198	70	
	合計	4,989,110	5,137,450	103	5,077,502	99	3,662,198	72	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		二次予防事業対象者数							
指標説明(式)		目標…高齢者人口(年度初め時)の5%				実績…二次予防事業対象者数			
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	477	492	103.1	508	103.3	513	101.0	
	実績	590	629	106.6	560	89.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		二次予防事業対象者の把握1件当たりの委託料コスト							
指標説明(式)		総経費÷二次予防事業対象者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	11033	10776	97.7	11734	108.9	7139	60.8	
	実績	8456	8168	96.6	9067	111.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	郵送による基本チェックリストの対象者把握を実施するとともに、在宅介護支援センター職員の高齢者訪問による対象者把握を行い、対象者のより詳細な状態を知ることができた。	3
	期待する目標	把握した対象者を二次予防事業等への参加に結びつけられた方は、介護予防の効果を高めることができたが、把握対象者全員の介護予防の効果を上げることは難しい。	
効率性	執行体制の効率性	実態把握を地域包括支援センターやブランチである在宅介護支援センターがに委託することで情報の集約化が図られ、各高齢者の状態の変化に応じてきめ細やかな対応を図ることができた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

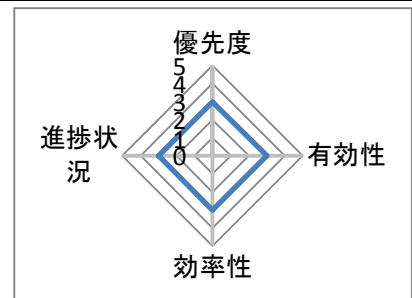
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	H28.10より在宅介護支援センター事業が開始されたことにより、二次予防対象者の把握から予防事業につなげることが円滑になった。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	在宅介護支援センターの訪問による実態把握に努め、より対象者にスピーディーに働きかけるように努める。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302022300		事業の種類	1			
年度	27	事務事業名	通所型介護予防事業	予算事業名	通所型介護予防事業	優先度	3
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	山下 恵	
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の二次予防事業対象者					
	誰(何)を対象として	65歳以上の二次予防事業対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	二次予防事業対象者把握事業により把握された二次予防事業対象者を対象に運動機能の維持・向上を実施					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	教室開催回数	回	85	96	45	47
	参加者数(実人数)	人	75	78	37	45
	延べ参加者数	人	1346	1175	351	400
	新規要介護等認定者数	人	1	0	0	0

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.160	0.180	113	0.080	44	0.048	60	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,547,250	1,753,173	113	943,814	54	693,630	73	
	事業費	3,163,091	3,215,262	102	691,650	22	1,249,000	181	
	合計	4,710,341	4,968,435	105	1,635,464	33	1,942,630	119	
財源内訳	国庫支出金	1,177,585	1,242,109	105	408,866	33	485,657	119	
	県支出金	588,792	621,055	105	204,433	33	242,829	119	
	市債			-		-		-	
	その他	2,355,170	2,484,217	105	817,732	33	971,315	119	
	一般財源	588,794	621,054	105	204,433	33	242,829	119	
	合計	4,710,341	4,968,435	105	1,635,464	33	1,942,630	119	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	事業参加者数								
指標説明(式)	事業参加者の延人数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1400	1500	107.1	400	26.7	400	100.0	
	実績	1346	1175	87.3	351	29.9			
指標名2	事業参加者からの新規認定者率								
指標説明(式)	新規認定者数÷事業参加者数(実人数)								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	1	0	0.0	0	-			

【効率性】

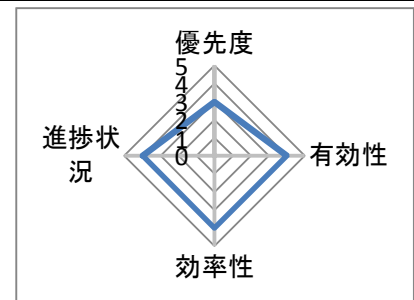
指標名1		教室1回当たりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費÷開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	131506	54059	41.1	50741	93.9	41332	81.5	
	実績	55415	51754	93.4	36343	70.2			
指標名2		教室1回当たりの参加者数							
指標説明(式)		延べ参加者数÷開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	28	20	71.4	9	45.0	10	111.1	
	実績	16	12	75.0	9	75.0			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	参加者数が定員に達しない現状はあり、対象者の把握方法を検討している。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	参加者の教室での声から、自身の介護予防に対する意識が高まっている。	
効率性	手段の最適性	送迎利用希望者へ送迎バスを実施により、虚弱な高齢者が公平に安心して参加できるよう環境整備をしている。	4
	執行体制の効率性	教室従事者間でカンファレンスを行い、教室運営について密に情報共有できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	教室の有効性はみられるが、介護予防制度の見直しに合わせて現状に適した地域支援事業の充実をはかる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	参加者数が定員に至らない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	教室参加を必要とされる方の把握方法を今後も工夫改善しながら取り組みたい。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022400		事業の種類	1		
年度	27	事務事業名	訪問型介護予防事業		予算事業名	訪問型介護予防事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	山下 恵	
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の閉じこもり、認知症、うつ等の二次予防事業対象者(認知症・うつのおそれのある一般高齢者を含む)						
	誰(何)を対象として	65歳以上の閉じこもり、認知症、うつ等の二次予防事業対象者(認知症・うつのおそれのある一般高齢者を含む)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるようにする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		認知症・うつ・閉じこもりの二次予防事業対象者及び当該おそれのある一般高齢者に対し、保健師等が直接訪問し家庭における療養方法、介護を要する状態になることの予防に関する指導等を行う。						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	訪問延べ人数	人	39	42	28	60		

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.020	0.060	300	0.040	67	0.048	120	
	臨時職員			-	0.012	-		0	
支出内訳	人件費	471,070	823,413	175	674,762	82	693,630	103	
	事業費	130,679	159,305	122	98,580	62	210,000	213	
	合計	601,749	982,718	163	773,342	79	903,630	117	
財源内訳	国庫支出金	32,670	245,680	752	193,335	79	225,907	117	
	県支出金	16,335	122,840	752	96,668	79	112,954	117	
	市債			-		-		-	
	その他	65,340	491,359	752	386,671	79	451,815	117	
	一般財源	487,404	122,839	25	96,668	79	112,954	117	
	合計	601,749	982,718	163	773,342	79	903,630	117	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		訪問指導者数の増減							
指標説明(式)		訪問指導者数の増減							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	80	80	100.0	60	75.0	60	100.0	
	実績	39	42	107.7	28	66.7			
指標名2		新規介護認定者数の増減							
指標説明(式)		新規介護認定者数の増減							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	4	2	50.0	0	0.0			

【効率性】

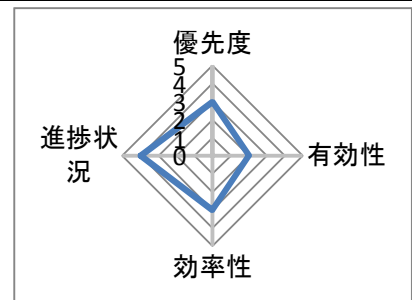
指標名1		訪問1回あたりのコスト							
指標説明(式)		5,500円/回							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5500	5500	100.0	5500	100.0	5500	100.0	
	実績	5500	5500	100.0	5500	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新たな支援体制の構築により、訪問指導のニーズに対する支援が多様化しており本事業における対象者数が減少している。	2
	関係(根拠)法令から見た効果	介護予防の考えに則した実施内容である。	
効率性	手段の最適性	委託専門職による定期的な訪問が出来ており、個別ケアプランに則した訪問実施が出来た。	3
	執行体制の効率性	地域包括支援センターの職員とともに連携して事業実施できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新しい総合事業にむけて、現状に適した事業の充実をはかる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	訪問指導の必要性



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	新しい総合事業へ向けて、他事業との関連性も含め事業実施における方法等について工夫改善する。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022600		事業の種類	1			
年度	27	事務事業名	普及啓発事業		予算事業名	普及啓発事業		優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する			担当課長	友上 啓子		担当者名	山下 恵
取組み事項		介護予防などを推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要綱							
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者							
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護予防に資する基本的な知識を普及啓発する							

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成及び配布							
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画			
	パンフレット配布数	部	3000	3000	3000	3000			

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.040	0.074	185	0.056	76	0.056	100	
	臨時職員			-		-	0.020	-	
支出内訳	人件費	624,810	931,885	149	764,246	82	810,614	106	
	事業費	308,778	328,677	106	276,248	84	338,000	122	
	合計	933,588	1,260,562	135	1,040,494	83	1,148,614	110	
財源内訳	国庫支出金	233,397	315,141	135	260,123	83	287,153	110	
	県支出金	116,699	157,570	135	130,062	83	143,577	110	
	市債			-		-		-	
	その他	466,794	630,281	135	520,247	83	574,307	110	
	一般財源	116,698	157,570	135	130,062	83	143,577	110	
	合計	933,588	1,260,562	135	1,040,494	83	1,148,614	110	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	健康な状態のときから、介護予防に資する基本的な知識の普及が図れる。	3
効率性	手段の最適性	生活習慣病健康診査時に配布するため、直接保健師から説明し手渡すことが出来る。その他、市民要望講座等でも随時普及啓発している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	4

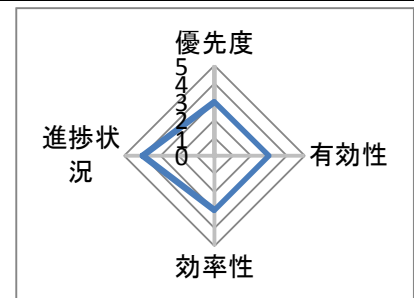
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	概ね問題なく進んでいる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	新たな配布機会をとらえていく。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302022700		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	健康大学講座事業		予算事業名	健康大学講座事業 優先度 4	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名 桂 安邦
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法令、介護予防事業の円滑な実施を図るための指針、地域支援事業実施要領					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の一般高齢者					
	誰(何)を対象として	65歳以上の一般高齢者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健康に関する意識の高揚を図り、要介護、要支援状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者を対象に医学の専門医を講師に招き、健康(介護予防を含む)に関する講座を相生市医師会と共催で開催。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	回数	回	10	10	10	10	
	人数	人	1726	1301	2118	2000	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.092	0.080	87	0.068	85	0.056	82	
	臨時職員	0.024	0.040	167	0.020	50	0.040	200	
支出内訳	人件費	1,083,118	1,075,573	99	904,410	84	864,734	96	
	事業費	400,000	400,000	100	400,000	100	400,000	100	
	合計	1,483,118	1,475,573	99	1,304,410	88	1,264,734	97	
財源内訳	国庫支出金	100,000	100,000	100	100,000	100	100,000	100	
	県支出金	50,000	50,000	100	50,000	100	50,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他	200,000	200,000	100		0		-	
	一般財源	1,133,118	1,125,573	99	1,154,410	103	1,114,734	97	
	合計	1,483,118	1,475,573	99	1,304,410	88	1,264,734	97	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		延べ参加者の増減							
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1500	1700	113.3	1700	100.0	2000	117.6	
	実績	1726	1301	75.4	2118	162.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		1人当たり事業費							
指標説明(式)		事業費/参加者							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	989	868	87.8	767	88.4	630	82.1	
	実績	859	1134	132.0	615	54.2			
指標名2		事業費の負担単価							
指標説明(式)		100,000円/回							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	100000	100000	100.0	100000	100.0			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市民会館中ホールにて、10回開催した。	4
	市民サービス	健康に関する関心は高く、特に高齢者のニーズは高いと考えている。	
効率性	手段の最適性	講師の都合により木曜日の午後に、公的施設の市民会館中ホールにて、開催した。	3
	コストの節減	相生市医師会と共催で開催。収容人員の問題はあるが市民会館中ホールにて開催した。市の負担割合4回分相当額を負担。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定した10回の健康大学講座が開催できた。	4

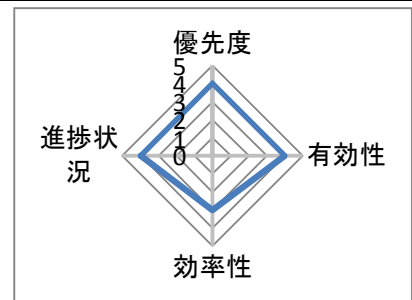
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	参加者数に見合った会場選択。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	受講者増に対応し、28年度より文化会館大ホールで開催する。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023200		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	配食サービス事業		予算事業名	配食サービス事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	丸山 由紀子
取組み事項	介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市配食サービス事業実施要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	弁当の宅配と安否確認を必要とする高齢者					
	誰(何)を対象として	市民税非課税世帯に属する食事の準備がしにくい65歳以上の者及び重度障害者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	栄養バランスのとれた食生活が営めるように					

2 事業の概要 Do

実施の概要	見守りと栄養改善を目的に、委託業者による食事の宅配を行うとともに、対象者に対し、月20食を限度に、1食あたり200円の助成券を支給する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	延べ利用食数	食	27,607	26,528	24,941	28,704

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.124	0.144	116	0.132	92	0.132	100	
	臨時職員		0.004	-	0.040	1,000	0.004	10	
支出内訳	人件費	1,270,518	1,483,965	117	1,433,638	97	1,364,526	95	
	事業費	5,770,577	5,613,365	97	5,331,752	95	6,114,000	115	
	合計	7,041,095	7,097,330	101	6,765,390	95	7,478,526	111	
財源内訳	国庫支出金	2,279,377	2,217,279	97	2,079,383	94	2,384,000	115	
	県支出金	1,139,688	1,108,639	97	666,469	60	1,192,000	179	
	市債			-		-		-	
	その他	1,211,821	1,178,806	97	1,172,985	100	1,346,000	115	
	一般財源	2,410,209	2,592,606	108	2,846,553	110	2,556,526	90	
	合計	7,041,095	7,097,330	101	6,765,390	95	7,478,526	111	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	延べ利用食数								
指標説明(式)	延べ利用食数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
食	目標	30,420	31,248	102.7	30,625	98.0	28,704	93.7	
	実績	27,607	26,528	96.1	24,941	94.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		利用1回あたりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費／延べ利用回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	209.7	249.5	119.0	254.7	102.1	260.5	102.3	
	実績	255	267.5	104.9	271.3	101.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	上位施策への貢献度	在宅生活が維持されることによって、住み慣れた地域での高齢者の生活継続が、本市にとって施設整備を抑制し保険料の軽減が図られる。	3
効率性	手段の最適性	祝祭による家事援助等を促すため、土日祝を除き、月20食を限度にサービスを提供しているが、手助けが得られない場合を考慮すると、月20食の限度の見直しの検討は必要。また安否確認を目的にあげるのであれば、所得要件も再考が必要	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	3

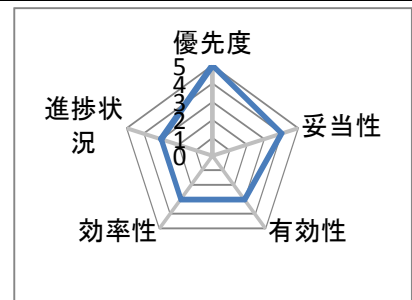
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	制度改正に伴い、サービス対象者の要件の見直しが必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	制度改正に伴い、サービス対象者の要件の見直しを検討する。



配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302023300		事業の種類		4	
年度	27	事務事業名	認知症高齢者サポート事業	予算事業名	認知症高齢者サポート事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	富田 智美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		「認知症サポーター等養成事業の実施について」(平成18年7月12日老計発第0712001号厚生労働省)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症を患った方及びその家族					
	誰(何)を対象として	市民及び市内事業所・学校に通勤されている方					
	意図(どのような状態にしたいのか)	身近な地域で認知症の方を発見しケアできる社会環境を整備し、認知症を患っても本人および家族が安心して生活できるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		キャラバンメイト養成研修を受講した方々を講師とし、地域住民・職場・学校・団体等を対象に認知症サポーター養成講座を開催する。また、フォローアップ講座を年1回開催する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	認サポ開催回数	回	12	22	24	25	
	認サポ延べ受講者数	人	949	593	707	700	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.140	0.400	286	0.220	55	0.260	118	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,393,510	3,457,733	248	1,991,294	58	2,359,526	118	
	事業費	140,100	73,740	53	151,060	205	343,000	227	343000
	合計	1,533,610	3,531,473	230	2,142,354	61	2,702,526	126	
財源内訳	国庫支出金	55,340	29,127	53	58,913	202	133,770	227	
	県支出金	27,670	14,563	53	29,456	202	66,885	227	
	市債			-		-		-	
	その他	29,421	15,485	53	33,233	215	75,460	227	
	一般財源	1,421,179	3,472,298	244	2,020,752	58	2,426,411	120	
	合計	1,533,610	3,531,473	230	2,142,354	61	2,702,526	126	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催回数の増減							
指標説明(式)		認知症サポーター養成研修開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	10	13	130.0	12	92.3	20	166.7	
	実績	12	22	183.3	24	109.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

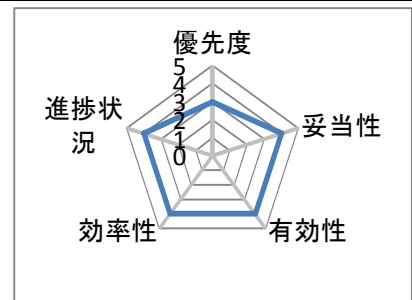
指標名1		受講者数の増減							
指標説明(式)		延べ受講者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	700	900	128.6	500	55.6	500	100.0	
	実績	949	593	62.5	707	119.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	認知症についての正しい知識が普及するとともに、サポーターが増える事で認知症の方やその家族の暮らしやすい環境が整備できる	4
効率性	コストの節減	講師を務めるキャラバンメイトは無報酬であり、低コストで認知症サポーターの養成ができています	4
	執行体制の効率性	H25年度キャラバンメイト養成講座を開催し、18名の登録者数増となった。認知症サポーター養成と合わせキャラバンメイトの養成は不可欠	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	受講者数は当初の目標値を達成した。今後は、サポーターの更なるレベルアップに繋げていきたい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	キャラバン・メイトの役割分担について、連絡会で深める必要がある。またさらなるスキルアップに向けて研修会をする。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302023400		事業の種類		1	
年度	27	事務事業名	後期高齢者医療保険事業	予算事業名	後期高齢者医療保険事業ほか	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 市民生活部市民課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	堤 琢磨
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		後期高齢者医療制度整備事業(更新)		後期高齢者医療制度整備事業(保守)			
		社会保障・税番号制度システム整備事業(後期)					
根拠法規及び関連法規		高齢者の医療の確保に関する法律、後期高齢者医療に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療制度被保険者					
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療制度被保険者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者に適切な医療給付、賦課を行うことにより、持続可能な制度とし、高齢者が健やかで安心した生活を送れるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		後期高齢者医療被保険者の療養諸費、高額療養費、葬祭費等給付の受付、保険料の賦課、納入通知書の送付事業					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	保険料賦課総額	円	339,568,337	345,988,223	343,507,851	377,521,544	
	年度末被保険者数	人	4755	4806	4962	5118	
	市町負担金	円	418,600,222	422,497,339	427,474,423	465,131,000	

3 投入資源

会計区分 後期高齢者特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	1.688	1.685	100	1.740	103	1.818	104	
	臨時職員	0.154	0.155	101	0.118	76	0.176	149	
支出内訳	人件費	13,668,900	13,790,563	101	13,661,176	99	15,078,546	110	
	事業費	424,950,264	429,003,004	101	439,017,409	102	473,024,000	108	
	合計	438,619,164	442,793,567	101	452,678,585	102	488,102,546	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	51,393,081	58,443,727	114	61,603,458	105	66,802,000	108	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	387,226,083	384,349,840	99	391,075,127	102	421,300,546	108	
合計	438,619,164	442,793,567	101	452,678,585	102	488,102,546	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの保険料賦課額							
指標説明(式)		保険料賦課総額/年度末被保険者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	74,914	76,362	101.9	77,181	101.1	73,763	95.6	
	実績	70,906	71,544	100.9	69,228	96.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		後期高齢者医療制度事業1人当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-市町負担金)/年度末被保険者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,267	4,180	98.0	4,291	102.7	4488	104.6	
	実績	4210	4223	100.3	5079	120.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢者の疾病、負傷又は死亡に関する事務、保険料の徴収の事務などを処理し、高齢者の福祉の増進を図ることができた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	マイナンバー関係のシステム整備事業に費用を要したため、コストが上昇した。	3
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速、適正な事務処理体制をとっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

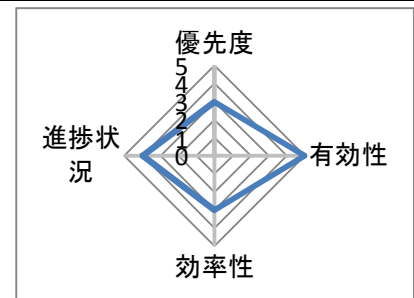
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	必要に応じて、他の公費負担医療制度との関係について教示する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	広域連合及び他の公費負担医療制度との連絡調整を強化する。



配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023500		事業の種類	1		
年度	27	事務事業名	介護予防推進講座事業		予算事業名	介護予防推進講座事業 優先度 3		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	山下 恵
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		介護保険法、介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の方(介護保険の要支援・要介護認定者を除く)						
	誰(何)を対象として	65歳以上の方(介護保険の要支援・要介護認定者を除く)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護予防活動に関心を持ち、自らも健康の維持増進を実践すると共に、地域において介護予防活動を推進できる人材となる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		運動機能の維持向上、栄養・口腔・認知症等に関する講話を含む講座を1回あたり概ね2時間として実施する。実施回数等は、月1回、5カ月間、全5回とし、市内各地区公民館等6か所にて実施する。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	開催回数	回			30	30	
	実参加者数	人			116	120	
	延べ参加者数	人			428	450	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100	
	参事以下職員			-	0.160	-	0.140	88	
	臨時職員			-	0.040	-	0.040	100	
支出内訳	人件費			-	1,643,134	-	1,524,806	93	
	事業費			-	568,128	-	730,000	128	
	合計			-	2,211,262	-	2,254,806	102	
財源内訳	国庫支出金			-	552,815	-	563,701	102	
	県支出金			-	276,408	-	281,851	102	
	市債			-		-		-	
	その他			-	1,105,631	-	1,127,403	102	
	一般財源			-	276,408	-	281,851	102	
合計			-	2,211,262	-	2,254,806	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業参加者数							
指標説明(式)		事業参加者の延べ人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-	430	-	430	100.0	
	実績			-	428	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		教室1回当たりの事業コスト							
指標説明(式)		総事業費÷開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	74000	-	75160	101.6	
	実績			-	73708	-			
指標名2		教室1回当たりの参加者数							
指標説明(式)		延べ参加者数÷開催回数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-	20	-	15	75.0	
	実績			-	14	-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	募集定員に達したのが1カ所のみであり、参加者数が伸びなかった。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	介護予防の視点に即した実施内容である。	
効率性	手段の最適性	各地域公民館等での開催とし、身近な地域の方と介護予防について学ぶ機会となっている。	3
	執行体制の効率性	各分野の専門職からの指導体制を整え、全5回講座を一連の流れとなるよう情報交換しつつ取り組んでいる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調にすすんでいる。	4

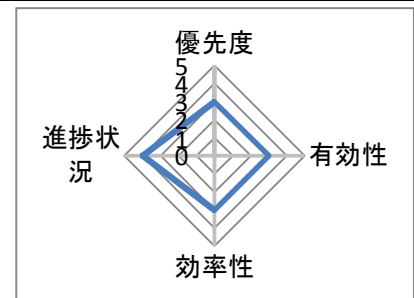
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	募集定員に達しない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	周知方法の見直し、魅力を感じる講座のネーミングを検討する。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023600		事業の種類	4	
年度	27	事務事業名	高齢者見守り事業		予算事業名	高齢者見守り事業 優先度 4	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名 富田 智美
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	認知症を含む高齢者					
	誰(何)を対象として	市民及び市内事業所で勤務されている方					
	意図(どのような状態にしたいのか)	身近な地域で認知症を含む高齢者を地域で見守りし、安心して地域で生活できるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		認知症を含む高齢者の事前登録、日頃の見守り、緊急時(搜索)の見守りを目的として「見守りSOSネットワーク」を構築を推進する。また、介護者に対し徘徊高齢者等支援サービス(GPSの初期費用の補助)も実施している。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	事前登録者	人	-	-	15	20	
	協力機関登録	団体			0	50	
	行方不明者搜索依頼	件			0	1	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100	
	参事以下職員			-	0.300	-	0.412	137	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	2,589,854	-	3,553,942	137	
	事業費			-	603,469	-	107,000	18	
	合計			-	3,193,323	-	3,660,942	115	
財源内訳	国庫支出金			-	235,352	-	41,730	18	
	県支出金			-	117,676	-	20,865	18	
	市債			-		-		-	
	その他			-	132,763	-	23,540	18	
	一般財源			-	2,707,532	-	3,574,807	132	
合計			-	3,193,323	-	3,660,942	115		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事前登録者の増減							
指標説明(式)		あんしん見守り事業(事前登録者)の登録者数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-	15	-	20	133.3	
	実績			-	15	-			
指標名2		見守りSOSネットワーク協力機関の増減							
指標説明(式)		協力機関登録件数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
団体	目標			-	-	-	50	-	
	実績			-	0	-			

【効率性】

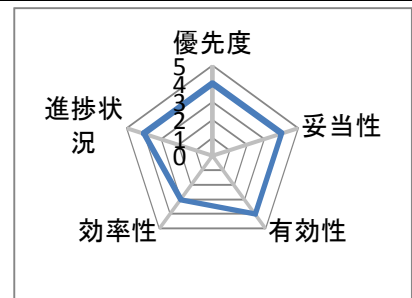
指標名1		事前登録者の割合							
指標説明(式)		事前登録者／高齢者人口							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	-	-	0.00194	-	
	実績			-	0.0146	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	身近な地域で認知症を含む高齢者を地域で見守りし、安心して地域で生活できるようにする。	4
効率性	コストの節減	事前登録者に配布する「見守りグッズ」は、平成27年予算で一括購入することにより、経費削減を図った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性		事前登録はH27.9より、見守りSOSネットワークはH28.3より開始。事業について市民等に更に普及啓発する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性		広報誌への掲載、ネットワークの協力機関を集めて連絡会を開催する等、制度の理解を深めたい。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302023700		事業の種類	9	
年度	27	事務事業名	総合事業費清算事業		予算事業名	総合事業費精算事業	優先度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	主要事業の指定		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	住所地特例者					
	誰(何)を対象として	住所地特例者が他市町で総合事業を利用した場合のための清算金					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住所地特例者が他市町で総合事業を利用した場合清算するため					

2 事業の概要 Do

実施の概要		住所地特例者が他市町で総合事業を利用した場合の清算金					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	予算額(科目設置)				0	1000	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.026	100	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	345,254	-	316,446	92	
	事業費			-	0	-		-	
	合計			-	345,254	-	316,446	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	345,254	-	316,446	92	
合計			-	345,254	-	316,446	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

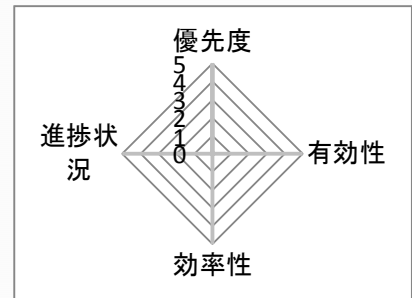
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020302040100		事業の種類	1			
年度	27	事務事業名	地域包括支援センター運営事業	予算事業名	包括的支援事業・任意事業	優先度	5
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する	担当課長	友上 啓子	担当者名	富田 智美		
取組み事項	在宅福祉の窓口を充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	相生市地域包括支援センター運営要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	在宅の65歳以上の高齢者とその家族等					
	誰(何)を対象として	総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的継続的ケアマネジメント業務、介護予防に関するケアマネジメント業務の実施					
	意図(どのような状態にしたいのか)	住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活が継続できるようにする					

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生市医師会に運営委託し、地域包括支援センターの各種業務(総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的継続的ケアマネジメント業務、介護予防に関するケアマネジメント業務等)を実施している(平成18年度より開設)。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
	総合相談支援業務	件数	903	1057	1292	1400
	権利擁護業務	件数	21	74	66	70
	包括的継続的ケアマネジメント業務	件数	45	63	155	160
	プランに係る訪問件数+地域連携件数	件数	2874	2999	3754	3870

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.162	0.320	198	0.720	225	0.400	56	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,562,624	2,837,893	182	5,732,294	202	3,459,646	60	
	事業費	38,115,000	40,132,920	105	43,152,920	108	49,664,000	115	
	合計	39,677,624	42,970,813	108	48,885,214	114	53,123,646	109	
財源内訳	国庫支出金	15,055,425	15,852,503	105	16,829,638	106	19,368,690	115	
	県支出金	7,527,713	7,926,252	105	8,414,819	106	9,684,480	115	
	市債			-		-		-	
	その他	8,004,150	8,427,913	105	9,493,642	113	10,926,080	115	
	一般財源	9,090,336	10,764,145	118	14,147,115	131	13,144,396	93	
	合計	39,677,624	42,970,813	108	48,885,214	114	53,123,646	109	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	活動実績								
指標説明(式)	総合相談支援業務件数+権利擁護業務件数+包括的継続的ケアマネジメント件数+介護予防事業ケアマネジメント+予防防給付ケアマネジメント件数+地域連携件数								
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
件	目標	4200	4200	100.0	4400	104.8	5500	125.0	
	実績	3843	4193	109.1	5267	125.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		活動実績の1件当たり委託料コスト							
指標説明(式)		支出事業費÷(総合相談支援業務件数+権利擁護業務件数+包括的継続的ケアマネジメント件数+介護予防事業ケアマネジメント+予防給付ケアマネジメント件数+地域連携件数)							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8393	9585	114.2	9888	103.2	9029	91.3	
	実績	9918	9571	96.5	8193	85.6			

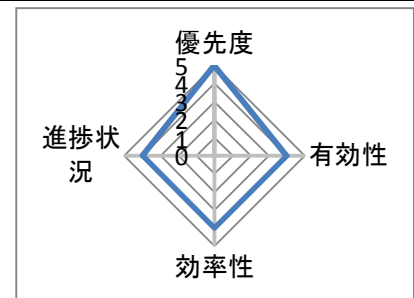
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	活動実績が高く、高齢者在宅福祉の重要な機関として市民の認知度が浸透している。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	高齢者の総合相談機関として、また住み慣れた地域で生活継続を図るための介護予防機関として、在宅高齢者及びその家族の福祉増進が図られている。	
効率性	執行体制の効率性	高齢者からの相談を包括的に受けることで、各高齢者の情報の集約化と効率的な在宅サービスの提供が図られている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りである。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業内容が多岐に渡り、事業費が増大している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	包括的支援事業等の実施における自己評価を導入し、事業のPDCAサイクル化を図る。

配点	25
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020302040200		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	市民後見推進事業		予算事業名	市民後見推進事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)	高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子		担当者名	古川 由紀
取組み事項	在宅福祉の窓口を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		老人福祉法第32条の2					
事業の目的	誰のために(具体的に)	判断能力が不十分となった高齢者等及び家族					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		判断能力が不十分となった高齢者等が安心して暮らせるよう、後見制度の浸透を図るとともに、市民後見人推進体制の確立を図る。					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	市民後見に関する講演会	回	1	1	1	0	
	市民後見人養成人数	人	0	0	0	4	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.240	0.080	33	0.160	200	0.096	60	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,162,210	978,373	45	1,542,374	158	1,070,814	69	
	事業費	76,360	300,380	393	87,640	29	1,865,000	2,128	
	合計	2,238,570	1,278,753	57	1,630,014	127	2,935,814	180	
財源内訳	国庫支出金	76,000	300,000	395		0		-	
	県支出金			-	87,000	-	1,865,000	2,144	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,162,570	978,753	45	1,543,014	158	1,070,814	69	
合計	2,238,570	1,278,753	57	1,630,014	127	2,935,814	180		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		講演会への参加人数							
指標説明(式)		講演会への参加人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	80	160.0	80	100.0	0	0.0	
	実績	50	63	126.0	29	46.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

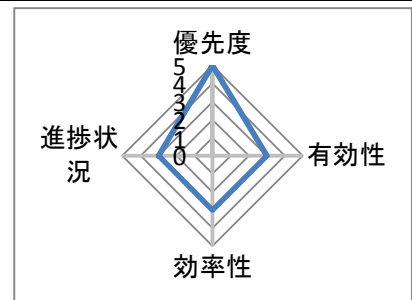
指標名1		事業費に対する市の負担割合							
指標説明(式)		事業費に対する市の負担割合							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	市民への後見制度及び市民後見人に対する普及啓発を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを図る。	3
	組織運営・適正管理	後見制度の利用数を鑑み、西播磨4市3町による西播磨成年後見支援センターの設立をめざし取り組んだ。	
効率性	執行体制の効率性	平成27年度は県の補助事業(法人後見・市民後見推進事業)として実施。西播磨成年後見支援センターができたことに伴い、今後は広域的な実施を行っていく。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	西播磨成年後見支援センターができたことに伴い、今後は広域的な実施となるため、効率的な事務を目指す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	広域化に伴い、西播磨成年後見支援センターの周知、事業のPRなどに努める。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010100		事業の種類	9		
年度	27	事務事業名	介護給付費準備基金積立金		予算事業名	介護保険事業		
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課			
施策名(中)		その他		担当課長	友上 啓子		担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市介護給付費準備基金条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護給付事務を円滑に進めるため						
	誰(何)を対象として	介護給付事務を円滑に進めるため						
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護給付事務を円滑に進めるため						

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護給付費準備基金利子及び前年度繰越分の積立						
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画		
	積立金(残高)	円	206888613	166990232	24310615	1702000		

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.072	0.072	100	0.024	33	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	870,794	916,389	105	524,822	57	505,038	96	
	事業費	29,187,571	18,721,619	64	24,310,615	130		0	
	合計	30,058,365	19,638,008	65	24,835,437	126	505,038	2	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	30,058,365	19,638,008	65	24,835,437	126	505,038	2	
合計	30,058,365	19,638,008	65	24,835,437	126	505,038	2		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

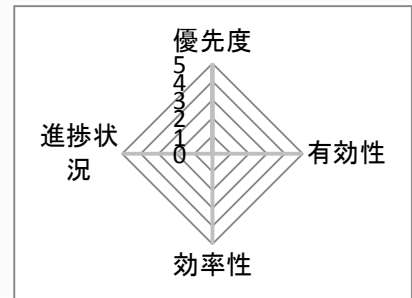
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010200		事業の種類	1	
年度	27	事務事業名	還付金	予算事業名	介護保険事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		その他		担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		介護保険法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳以上の市民					
	誰(何)を対象として	65歳以上の市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な保険料賦課					

2 事業の概要 Do

実施の概要		保険料の還付					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	保険料還付人数	人	83	38	34	40	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.044	44	0.024	55	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,086,030	1,133,333	104	674,462	60	505,038	75	
	事業費	711,593	455,507	64	274,507	60		0	
	合計	1,797,623	1,588,840	88	948,969	60	505,038	53	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	711,593		0		-		-	
	一般財源	1,086,030	1,588,840	146	948,969	60	505,038	53	
合計	1,797,623	1,588,840	88	948,969	60	505,038	53		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		高齢化率							
指標説明(式)		高齢者数/相生市人口							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
%	目標	30	33	110.0	33	100.0	34	103.0	
	実績	31.89	33.33	104.5	33.78	101.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

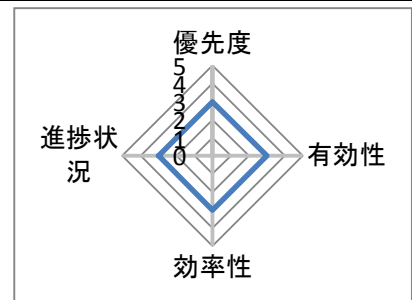
指標名1		還付状況(一人当たりの事業費)							
指標説明(式)		総事業費/還付人数							
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標	12725	18582	146.0	26599	143.1	30000	112.8	
	実績	21658	41811	193.1	27911	66.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	適正・確実に還付を行った。	3
	組織運営・適正管理	適正・確実に還付を行った。	
効率性	手段の最適性	適正・確実に還付を行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	速やかな還付処理を行っている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	今後も還付事務が発生した場合には速やかに処理していく。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010300		事業の種類	9	
年度	27	事務事業名	償還金	予算事業名	介護保険事業		優先度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		その他		担当課長	友上 啓子		担当者名
取組み事項		その他		実施計画への記載	無		主要事業の指定
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	国・県					
	誰(何)を対象として	国・県への返還金					
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業精算後、国・県から補助金返還の要請があった場合に返還する業務					

2 事業の概要 Do

実施の概要		事業精算後、国・県から補助金返還の要請があった場合に返還する業務					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	社会保険診療報酬支払基金償還金	円	682793	1312907	485834	0	
	国庫負担金償還金	円	1536223	4795455	10417819	0	
	県費負担金償還金	円	546615	1312907	7945739	0	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.040	0.028	70	0.032	114	0.032	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	624,810	575,477	92	584,678	102	567,902	97	
	事業費	3,159,001	7,364,383	233	18,849,392	256		0	
	合計	3,783,811	7,939,860	210	19,434,070	245	567,902	3	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,783,811	7,939,860	210	19,434,070	245	567,902	3	
合計	3,783,811	7,939,860	210	19,434,070	245	567,902	3		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

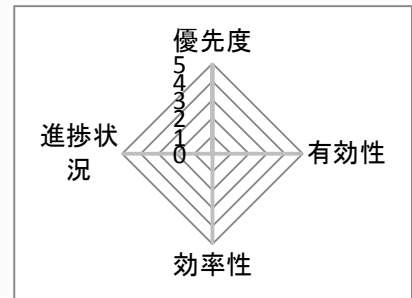
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010400		事業の種類	9	
年度	27	事務事業名	予備費	予算事業名	介護保険事業	優先度	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		その他		担当課長	友上 啓子	担当者名	丸山 由紀子
取組み事項		その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	介護保険事業					
	誰(何)を対象として	介護保険事業の円滑化					
	意図(どのような状態にしたいのか)	介護保険事業の不測の事態に備えるため					

2 事業の概要 Do

実施の概要		介護保険事業の不測の事態に備えるため					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	

3 投入資源

会計区分 介護保険特別会計

事業費単位:円

インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員	0.060		0		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	778,550	358,533	46	345,254	96	316,446	92	
	事業費	0	0	-	0	-		-	
	合計	778,550	358,533	46	345,254	96	316,446	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	778,550	358,533	46	345,254	96	316,446	92	
合計	778,550	358,533	46	345,254	96	316,446	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

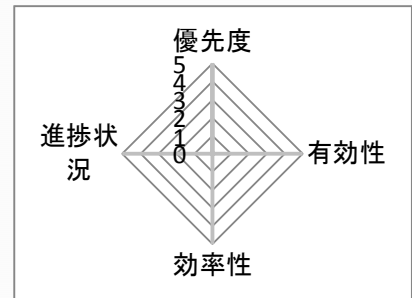
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020303010500		事業の種類	9	
年度	27	事務事業名	予備費	予算事業名		優先度	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)	その他		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	木下 卓巳	
取組み事項	その他		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	後期高齢者医療特別会計					
	誰(何)を対象として	後期高齢者医療特別会計					
	意図(どのような状態にしたいのか)	後期高齢者医療特別会計の円滑な運営のため					

2 事業の概要 Do

実施の概要		後期高齢者医療特別会計の円滑な運営のために予備費を計上					
活動実績	項目	単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画	
	予備費	円	73,222	0	0	200000	

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		25年度決算	26年度決算	前年比	27年度決算	前年比	28年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.027	104	0.026	96	0.026	100	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	
	事業費			-		-		-	
	合計	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92	
合計	317,330	358,533	113	345,254	96	316,446	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	25年度	26年度	前年比	27年度	前年比	28年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(27年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

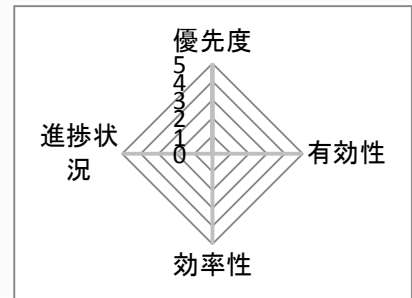
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた28年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	0